

## 令和5年度 重点事業報告

わが国では、少子高齢社会の人口及び疾病構造を見据えた社会保障制度改革、特に医療制度改革が進められている。千葉県においても「保健医療計画」「高齢者保健福祉計画」等により、県民一人ひとりが健康やかに地域で暮らし、心豊かに長寿を全うできる総合的な保健医療福祉システムづくりや、高齢者が安心して暮らし続けられる地域社会の実現を目指し、2025年を見据えて、地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築・推進など様々な事業が進められている。

さらに、団塊ジュニアが高齢者となる一方で支える人口が減少するなどの様々な社会情勢の大きな変化が見込まれる2040年に向け、近年頻発する自然災害や収束が見えない新興感染症の拡大などの健康危機管理問題への対応なども含めた一層の制度や体制の整備が求められ、第8次医療計画にも反映されるように取り組む必要がある。

このような状況の中、看護職不足は全国的な課題であり、地域の実情に応じた地域医療構想との整合性の確保や地域間偏在是正などの観点を踏まえ検討されている。本県においても2025年には約8,800人の看護職不足が推計されており、看護職の定着・確保対策は喫緊の課題である。加えて、近年の広範囲にわたる災害への対策、収束が見えない新型コロナウイルス感染症対策など県民の生命と生活を脅かす緊急事態が継続しており、医療・看護に対する期待が大きい中、地域別偏在・領域別偏在などの課題について丁寧な議論と継続的な人材確保について計画に明記することが必要となっている。

また、少子超高齢多死社会に向けて、医療は病院完結型から地域完結型への移行が加速し、ますます増加する医療依存度の高い在宅療養者や障がい者への支援、社会を支える次世代の子どもたちの健全な育成が求められている。この課題を解決するためには、在宅療養者・障がい者・子育て世代と、専門職や地域住民、自治体等が協働して支える自助・共助・公助のしくみとして、「全世代を対象とした地域包括ケアシステム」の構築・推進が必要であり、在宅医療を支える人材育成、関係機関・団体との連携体制の構築、看一看護連携や多職種とのネットワークづくり（地域連携）、訪問看護への総合的な支援等地域の実情に応じて看護の視点で健康に関する地域課題を共有し、生活の場である地域において切れ目のないケア提供ができるよう進めていく必要があると考えている。

医療政策の分野では、地方分権の推進が進められており、看護職に関わる政策・事業の多くが国から地方に移行している。看護職の機能と役割を十分に発揮するため、今後は一層千葉県、市町村と連携した政策策定への参画と看護政策の推進が重要となる。職能団体として、看護職に関わる様々な課題の解決を進め、地域の各実践の場において、看護職が的確に役割を果たすためには、医療・看護に係る政策の推進役となる本協会が、戦略的・継続的に看護政策を推進する力をつけていくことが必要となっている。そのためには会員増が必要不可欠であり、入会促進活動の推進とともに、職能間の連携強化が必要である。

以上により、令和5年度千葉県看護協会は、社会の動向を見据え、看護職が果たすべき役割を見極めながら、看護の専門性を発揮し、県民の健康な生活を支えるべく、令和4年度に取り組んできた5つの重点事業を充実し、「地域における看護職の定着・確保」「質の高い看護の提供体制の構築・推進」「全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進」「地域における健康危機管理体制の強化」「組織基盤の強化」とし、地域において全世代の健康を支える取り組みを継続的に進めることとして、事業を展開していく。

## 令和5年度 重点事業

- 1 地域における看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の強化
- 5 組織基盤の強化

### 重点事業：

- 1-1 第5次看護職定着・確保の推進
- 1-2 ヘルシーワークプレイスの推進
- 1-3 ナースセンター事業の推進
- 1-4 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保
- 1-5 地域包括ケアを実現するための人材確保（保健師・訪問看護師等）
  
- 2-1 生涯教育の推進
- 2-2 看護研究学会の開催
- 2-3 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発
- 2-4 特定行為研修制度の普及・活用
- 2-5 中小規模病院看護管理者の育成
- 2-6 医療安全対策の推進
  
- 3-1 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進
- 3-2 地域連携強化と多職種連携会議への参画
- 3-3 訪問看護・看多機の推進
  
- 4-1 新興感染症等パンデミックへの対応体制の強化
- 4-2 大規模災害発生時の対応体制の強化
- 4-3 協会における事業継続計画（BCP）の策定
  
- 5-1 会員の定着・確保・拡大
- 5-2 看護政策推進力の強化

## 1 地域における看護職の定着・確保の推進

### 1-1 第5次看護職定着・確保の推進

#### 実施内容

#### 1. 第5次看護職定着確保推進計画の普及・推進

- 1) 看護職定着確保推進計画の中間評価
- 2) 看護職定着確保対策協議会の開催 年1回
- 3) 看護職定着確保対策事業の普及啓発
  - (1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報
  - (2) 各種協会事業を通じた普及

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

当協会では、2020年より健康の保持増進、疾病予防、病気や障がいがあっても自分らしい生活が送れるよう「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の実現を目指している。本県は特に慢性的な看護師不足が続いており、地域偏在や領域別偏在が指摘されている。このような中で、令和3年度から5年間計画となる第5次看護職定着・確保推進計画を作成し、目標を達成するための設定指標（数値目標）を設定して各事業を推進している。令和5年度は計画の中間評価年であり、進捗状況の確認とともに設定指標の評価を実施する。

#### 成果

- 1) 看護職定着確保推進計画の中間評価 看護職定着確保対策協議会で評価実施
- 2) 看護職定着確保対策協議会 1/11 集合開催 委員10名出席
- 3) 看護職定着確保対策事業の普及啓発
  - (1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報掲載継続
  - (2) 各種協会事業を通じた普及

# 1 地域における看護職の定着・確保の推進

## 1-2 ヘルシーワークプレイスの推進 (健康で安全な職場づくりの取り組み)

### 実施内容

#### 1. ヘルシーワークプレイス推進事業

- 1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加
- 2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間」の推進
  - (1) ホームページ及び「看護ちば」
  - (2) ヘルシーワークプレイス取組施設交流会
  - (3) 職員の健康づくりの取組事例の紹介
- 3) ヘルシーワークプレイス研修(再掲)
- 4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化
  - (1) 電話相談
  - (2) 施設支援
- 5) ハラスメント対策強化への働きかけ

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

千葉県では慢性的な看護師不足や離職率が高い状況が続いており、看護職定着・確保推進計画の目標に「質の高い医療・看護を提供するため、看護職が働き続けられる職場づくりの推進」を掲げ、ヘルシーワークプレイスの推進事業等に取り組んでいる。これまでの取り組みから、労働条件や処遇改善、ハラスメント対策、子育て支援制度の整備、多様な勤務形態の導入などの効果がみられたが、相談窓口には多岐にわたる相談が寄せられている現状がある。

引き続き、ヘルシーワークプレイスの実現に向けて、ヘルシーワークプレイスガイドライン(日本看護協会2004年度策定)の活用を図りながら取り組むこととする。推進にあたっては、ヘルシーワークプレイス取組施設の交流やハラスメント対策の強化等をとおして、県内施設が健康で安全な職場を目指せるよう支援する。

### 成果

- 1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加 応募施設 3施設
- 2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間」の推進
  - (1) ホームページ及び「看護ちば」145号(4月) 146号(7月) 147号(10月) 148号(1月)
  - (2) ヘルシーワークプレイス取組施設交流会 10/5 参加者 54名
- 4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化
  - (1) 相談 63件 相談案内カード・チラシを作成、随時配布
  - (2) 施設支援 45件
- 5) ハラスメント対策強化への働きかけ  
ハラスメント防止啓発リーフレットの作成9,000部 会員・会員施設7,500部配布

## 1 地域における看護職の定着・確保の推進

### 1-3 ナースセンター事業の推進 (安定的な定着・確保対策の実践、再就業支援等)

#### 実施内容

#### 1. ナースセンター事業

- 1) 看護職の定着確保に係る実態調査
- 2) 看護職の無料職業紹介
- 3) 届出制度
- 4) 未就業看護職の就業支援
- 5) ナースセンター運営委員会
- 6) ナースセンター事業の広報
- 7) 日本看護協会・中央ナースセンターと公共職業安定所等との連携
- 8) 看護職への相談支援
- 9) 看護進路相談事業
  - (1) 出前授業
  - (2) ふれあい看護体験
  - (3) 進路相談
- 10) 訪問看護再就業支援事業

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、千葉県から看護協会が「千葉県ナースセンター」として指定を受け事業を実施している。

千葉県の就業看護職の現状は、平成30年の従事者届によると、人口10万対で全国46位と厳しい水準にあり、2025年には約8,800人の看護職が不足すると見込まれている。

ナースセンターを介した再就業者は年々増加しているものの、求人施設と求職者の登録促進とマッチングの強化が課題である。併せて、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、医療現場・保健所・療養施設・ワクチン接種等の求人が増加したことから、今後、ナースセンターの認知度を高める取り組みを強化し、求人施設・求職者の活用拡大を図ることが必要である。

#### 成果

- 1) 看護職の定着・確保に係る実態調査
  - (1) 病院看護管理者  
289施設に4/26～5/15の期間で実施 有効回収率 56.4%
  - (2) 未就業看護職  
170名に5/12～5/31の期間で実施 有効回収率 18.8%
  - (3) 新人看護職員  
622施設・4ステーションに9/15～9/29の期間で実施 有効回収数 949名
  - (4) 訪問看護ステーション管理者  
566ステーションに6/16～6/30の期間で実施 有効回収率 33.9%

- (5) 統括保健師  
 県1名、市町村54名に6/6～6/20の期間で実施 有効回収率 78.2%
- (6) 現任教育責任者  
 県保健所現任教育責任者13名に6/6～6/20の期間で実施 有効回収率 84.6%
- (7) 再就業者  
 207名に5/26～6/9の期間で実施、有効回収率 24.2%
- 2) 看護職の無料職業紹介
- |               |         |
|---------------|---------|
| e ナースセンター利用者数 | 10,354名 |
| 新規求人数         | 2,445名  |
| 紹介者数          | 538名    |
| 就職者数          | 389名    |
- 3) 届出制度  
 届出者数 734名 (代行届出数 387名 代行届出率 52.7%)
- 4) 未就業看護職の就業支援
- (1) 看護基礎技術講習会 60回実施 (参加者 実100名 延148名 就業者57名)
- (2) 合同就職説明会 8/26 11/11 参加者44名 就業者21名
- (3) 求人情報誌発行 4回 (6月 9月 12月 3月)
- (4) 公共職業安定所出張相談会 73回 相談 120名
- (5) サテライト事業の推進 (再掲)
- (6) 就業支援  
 面接 160名 電話 1,766名 メール 1,969名 オンライン 3名
- (7) プラチナナース研修会 8/25 参加者48名
- (8) 相談者就業確認 231名
- (9) 未就業看護職へのeラーニング研修 学研ナーシングサポート 参加者49名  
 ビジュアルナーシングメソッド 参加者44名
- 5) ナースセンター運営委員会 12/21 集合開催 委員13名出席
- 6) ナースセンター事業広報  
 「看護ちば」にナースセンターだよりを掲載  
 145号(4月) 146号(7月) 147号(10月) 148号(1月)
- 7) 関係機関との連携
- (1) 2023年度ナースセンター事業担当者会議 (日本看護協会主催) 6/2
- (2) 令和5年度ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡会議 8/2 2/1
- (3) 2023年度都道府県ナースセンター相談員研修 (労働法) 9/13
- (4) 2023年度キャリアコンサルティング研修  
 ① 基礎力強化のためのキャリアコンサルティング研修 11/9 29  
 ② 困難事例対応力強化のためのキャリアコンサルティング研修 12/13 14 20
- (5) 2023年度地域に必要な看護職確保推進事業報告会 2/29
- (6) 看護資格の活用基盤強化及び看護補助者の確保・定着に関する説明会 3/6
- (7) 第7次NCCSの機能に関する説明会 3/15
- 8) 看護職への相談支援 3,898名 (再掲)
- 9) 看護進路相談事業
- (1) 出前授業 実施校 37校 (小学校7校 中学校23校 高等学校7校)  
 参加者 3,377名

(2) ふれあい看護体験 協力施設 82 施設 実施施設数(延べ) 120 施設  
参加者 996 名

(3) 進路相談 28 件

10) 訪問看護再就業支援事業

訪問看護基礎研修会 参加者 51 名

集合開催 (7/21 10/23 12/25) ハイブリッド開催 (8/19)

# 1 地域における看護職の定着・確保の推進

## 1-4 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保

### 実施内容

#### 1. 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保事業

- 1) 「看護の日・看護週間」
- 2) 進路相談（再掲）
- 3) 出前授業（再掲）
- 4) ふれあい看護体験（再掲）

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

18歳人口が減少し看護人材が不足することから、2030年には18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要があると試算されている（日本看護協会）。このため、若年層を対象とした看護職の魅力の発信を強化し、看護人材の確保が重要となる。

本協会では、令和3年度より「看護の日・看護週間」を中央行事として位置づけ、地区行事とも連動し、次世代を担う人材の確保に努めている。

県内の学校に通う児童・生徒や保護者、学校の進路相談担当者を対象とした進路相談、また、出前授業やふれあい看護体験により、看護についての知識や理解を深め、看護人材の確保につなげられるよう進めていく。

#### 成果

##### 1) 「看護の日・看護週間」

テーマ：看護の心をみんなの心に—看護の力で未来を支えよう—

中央行事：5/13 参加者 45名

地区部会行事：5/6～5/14 9地区 参加者 863名

参加者数：908人

##### 2) 進路相談（再掲） 28件

##### 3) 出前授業（再掲） 実施校37校（小学校7校 中学校23校 高等学校7校）

参加者 3,377名

##### 4) ふれあい看護体験（再掲）実施施設数（延べ） 120施設

参加者 996名

## 1 地域における看護職の定着・確保の推進

### 1-5 地域包括ケアを実現するための人材確保 (保健師、訪問看護師等)

#### 実施内容

#### 1. 訪問看護総合支援センター設置に向けた検討

- 1) 訪問看護推進協議会部会による協議
- 2) 関係団体との連携

#### 2. 地方自治体への要望

- 1) 保健師増員
- 2) 子育て支援、産後ケアの体制整備

### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

本県においては小規模訪問看護ステーションが7割を占める現状から、人材確保、経営支援、訪問看護の質向上が課題となっている。日本看護協会が提案している訪問看護総合支援センターは、訪問看護に関するさまざまな課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点であり、協会においても訪問看護総合支援センター設置に向けた検討を継続する。

また、令和3年の県内保健師数は1,500人、人口10万対33.3（平成30年）で全国平均よりも低い現状にある。地域包括ケアシステムを推進するためには、地域包括の中心的役割を担う保健師の増員が求められる。さらに、子育て世代包括支援センターにおける医療機関・地域等の助産師と市町村の連携強化を図る必要があり、自治体へ要望を継続していく。

### 成果

1. 訪問看護推進協議会検討部会の開催 1/19
2. 地方自治体への要望  
県への要望提出 8/2  
会員要望数 102件(36名)

## 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

### 2-1 生涯教育の推進

#### 実施内容

##### 1. 生涯教育の開催

- 1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育
- 2) ラダーと連携した継続教育
- 3) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育
- 4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実にむけた継続教育
- 5) 資格認定教育

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護職がさまざまな場で専門職としての役割を発揮していくためには、自律性が不可欠である。新たな医療ニーズに対応する能力を身につけ、質の高い看護を提供するための研修と人材育成及びキャリア開発を念頭においた継続教育が必要であり、本協会でも生涯教育計画として継続教育を実施している。令和元年度から、日本看護協会の「5つの研修分類」の区分と「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を各研修に表記し、受講の目安となるようにした。

個々の看護職が専門職として自己研鑽でき、さらに所属する組織及び地域のニーズにも対応できるような実践的で魅力的な研修を検討し、実施していく必要がある。

新型コロナウイルス感染拡大の影響でWeb配信の研修を取り入れ、その利点を活かし成果をあげられるようになった。今後は、対面研修とWeb配信研修の特徴を考慮し、状況に合わせて研修成果が最大限にできるように、ハイブリッド形式を加える等研修方法を検討し実施していく。

#### 成果

##### 1. 生涯教育の開催

111 研修 令和5年度 生涯教育研修 実施状況（P55~57）

## 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

### 2-2 看護研究学会の開催

#### 実施内容

#### 1. 看護研究学会の開催

- 1) 第41回千葉県看護研究学会の開催  
令和5年10月13日(金)

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護研究を行うことは、科学的根拠に基づく看護（EBN）を実践することにつながり、看護の質の向上を目指した活動であり、専門職としての責務でもある。本協会では昭和57年度から研究発表を行う場として看護研究学会を毎年1回開催してきた。しかし、令和元年度以降、演題応募数が減少傾向にある。

臨床現場において質の高い看護を提供するためには、看護研究に取り組み、研究結果として得られた新知見を発表し共有できる看護研究学会の開催意義は大きい。そのため、令和4年度からは、実践報告会と交流会を加え、演題応募数及び参加者数の増加を図っている。

さらに、看護研究に必須となった倫理審査を受けやすいように、倫理審査委員会を設置し、看護研究に取り組みやすい環境づくりを強化していく。

#### 成果

- 1) 第41回千葉県看護研究学会の開催

研究発表 22 演題 実践報告 13 演題 計 35 演題

交流集会 3 題

研究支援 3 施設

参加者 191 名

## 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

### 2-3 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発

#### 実施内容

#### 1. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発

##### 1) 専門・認定看護師制度の普及・活用

- (1) 専門・認定看護師等の理解と資格取得の推進
- (2) 専門・認定看護師・認定看護管理者の登録制の活用推進

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成6年に資格認定制度が発足し、診療報酬加算の要件に専門看護師・認定看護師の配置が規定されていることもあり、専門・認定看護師制度の普及は進んでいる。令和4年11月現在の千葉県に登録者数は、専門看護師116名、認定看護師857名となった。令和2年以降の新型コロナウイルス感染症対策においては、感染の分野の専門看護師・認定看護師が専門性を発揮して活動した。専門性の高い看護職の役割の重要性が認知された。

しかし、令和3年12月の調査によると、認定看護師が所属している病院の割合は、200～299床で59.4%、150～199床で44.2%となっており、中小規模病院における認定看護師の資格取得・就業に課題がある。

今後もチーム医療を推進していく中で看護の専門性を発揮するためには、より専門的で質の高い知識や技術を持ったスペシャリストの育成は不可欠であり、組織として資格取得と活動を支援できるよう、活用可能な情報を適宜発信していく必要がある。

また、研修等で指導・支援可能な県内の専門看護師・認定看護師の状況を把握し、人材登録制にする等の取り組みについても継続していく。

#### 成果

##### 1) 専門・認定看護師制度の普及・活用

- (1) 生涯教育研修の担当講師  
専門・認定看護師の講師 37 研修 67 名
- (2) 講師等人材登録 登録者数 35 名

## 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

### 2-4 特定行為研修制度の普及・活用

#### 実施内容

#### 1. 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発

##### 1) 特定行為研修制度の普及・活用

特定行為研修制度の理解と資格取得の推進

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

チーム医療を推進し、看護師がさらに役割を発揮するために、平成27年10月に「特定行為に係る研修制度」が施行され、令和元年度の認定看護師制度改正により、認定看護師教育課程に特定行為研修が組み込まれ、令和3年度から活動を開始している。

日本看護協会の「看護の将来ビジョン」（平成27年）において、特定行為研修制度を通して、高度な看護を実践する能力を持つ看護職の育成を推進するとしており、少子超高齢社会における地域・国民のニーズに積極的に応えるため、制度の活用の推進が求められている。また、チーム医療及び医師の働き方改革を推進する観点からタスク・シフティングを進めるためにも、この制度の普及と活用が重要である。

全国の特定行為研修修了者は4,832人（令和4年3月時点）、研修機関は46都道府県で319機関（令和4年2月時点）であるが、千葉県に登録者は131名、研修機関は6機関となっている。質の高い看護の提供体制の構築を目指し、本協会の会員施設及び会員に対して特定行為研修制度の理解促進のために、特定行為研修修了者の活動や指定研修機関の研修生受け入れに関する情報提供等を行う。

#### 成果

##### 1) 特定行為研修制度の普及・活用（再掲）

看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践 1/29 13名

## 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

### 2-5 中小規模病院看護管理者の育成 (地域内の施設間連携の推進)

#### 実施内容

#### 1. 中小規模病院看護管理者の育成

- 1) 中小規模病院看護管理者研修・情報交換会
- 2) 看護管理者研修（生涯教育）

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

2025年を見据え、医療は病院完結型から地域完結型へシフトチェンジし、地域連携の構築及び強化が重要となっている。また、医療費抑制傾向にある診療報酬改定が続き、看護管理者の経営参画意識の向上が病院維持に不可欠になってきている。300床未満の中小規模病院が約8割を占める千葉県においては、地域医療を担う中小規模病院の看護管理者の果たす役割は大きい。しかし、中小規模病院の看護管理者は、時間や人員に余裕がなく、希望どおりに看護管理者対象の研修等に参加しにくい状況にあると推察される。

そこで、中小規模病院の看護管理者が、看護に関連する診療報酬の活用・看護の質向上・看護職員の定着と確保・問題解決技法等について学びやすい研修を企画し、マネジメント力の向上を図れるようにする必要がある。

平成24年から、長期間現場を離れることが難しい看護管理者が参加しやすいように、看護管理の基礎知識を系統的に学べる5日間の研修を開催している。また、平成28年からは、地域特有の課題について情報共有ができ、成長とネットワークづくりの場としても活用できる研修を開催している。

#### 成果

##### 1) 中小規模病院看護管理者研修・情報交換会

利根地区開催	9/29	参加者	6名
君津地区開催	10/31	参加者	3名
東葛地区開催	1/19	参加者	5名

##### 2) 看護管理者研修（再掲）

## 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

### 2-6 医療安全対策の推進

#### 実施内容

#### 1. 医療安全対策の推進

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
  - (1) 相談支援（医療事故報告者、施設等への相談支援等）
  - (2) 情報提供（「世界患者安全の日」の啓発等）
- 2) 医療安全の推進
  - (1) 医療安全大会の開催
  - (2) 医療安全推進の普及啓発
- 3) 医療安全管理者の育成
  - (1) 医療安全管理者養成研修会
  - (2) 医療安全担当者中央交流会
  - (3) 医療安全担当者地区交流会
- 4) 関係機関等との連携促進

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成11年の患者取違い事故以降、国は医療機関における医療安全管理体制の整備を進めてきた。また、日本看護協会では、職能団体として看護職の安全なケア環境をつくるため様々な取り組みを行っている。本会においても、看護職が安全に安心して働き続けられる環境づくりを目指し、医療安全対策を推進してきた。

平成17年より「医療安全推進週間」に合わせて、多職種参加の医療安全大会の開催や医療安全に関する標語を募集しポスターにして配布する等、県内の医療従事者の、医療安全への意識の向上と普及啓発を図ってきた。令和4年からは、医療安全に関するチーム活動を募集し、多職種協働の推進も強化している。

今後は、医療安全大会を、より有意義なものにしていくために、行政及び医師会等と共同主催する等、大会の在り方を含めた見直しが必要である。

さらに、平成31年の世界保健機関の総会において、患者安全を促進することへの人々の意識・関心を高め、国際的な理解を深めるため、9月17日が「世界患者安全の日」と制定された。「医療安全推進週間」とともに、医療安全文化の醸成に向けた取り組みを継続していく。

#### 成果

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
  - (2) 情報提供（「世界患者安全の日」の啓発等）
    - ・看護ちば・ホームページへの掲載
    - ・看護会館・ナースセンターへのポスター掲示
- 2) 医療安全の推進
  - (1) 医療安全大会 11/19
    - テーマ 心理的安全性を実現する組織作り
    - 参加者数 274名

- (2) 医療安全推進の普及啓発
  - ・医療安全に関する標語 応募総数 1,422 作品
  - ・医療安全に関するチーム活動 応募総数 5 施設
- 3) 医療安全管理者の育成
  - (2) 医療安全担当者中央交流会 7/29 参加者 91 名
  - (3) 医療安全担当者地区交流会
    - 船橋地区 9/7 参加者 35 名
    - 山武地区 9/16 参加者 42 名
    - 市川地区 10/7 参加者 10 名
    - 印旛地区 10/28 参加者 24 名
- 4) 関係機関等との連携促進

### 3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進

#### 3-1 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進

##### 実施内容

##### 1. 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進

- 1) 地域包括ケア推進における看護活動の研修の開催
- 2) 医療的ケア児を支援する地域包括ケア研修の開催

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

少子超高齢多死社会においては、医療は病院完結型から地域完結型へと移行し、住み慣れた地域社会で暮らす医療依存度の高い在宅療養者（児）や障がい者（児）が増加し、全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築が求められている。地域において疾病・障がい・健康等の状態にかかわらず全世代を対象に生活全般を支援をする看護職がその機能を発揮し、関係機関・多職種との連携を推進する必要がある。

#### 成果

- 1) 地域包括ケア推進における看護活動の研修の開催（再掲）
- 2) 医療的ケア児を支援する地域包括ケア研修の開催（再掲）
  - 医療的ケア児等在宅移行支援研修（基礎編）
  - 医療的ケア児等在宅移行支援研修（応用編）

### 3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進

#### 3-2 地域連携強化と多職種連携会議への参画

##### 実施内容

##### 1. 地域連携強化と多職種連携会議への参画

- 1) 地域包括関連会議（地域医療構想調整会議、地域ケア会議等）への参画
- 2) 多職種連携会議への参画

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築・推進において、看護職がその機能を発揮するためには、自治体で策定される医療計画・地域医療構想、介護保険事業計画等の策定会議への参画、関係機関・団体との連携体制の構築、看一看護連携や多職種とのネットワークづくり（地域連携）が必要である。会議等において、看護の視点で地域の課題を検討し、実情に応じた課題解決ができるように働きかける。

#### 成果

- 1) 地域包括関連会議（地域医療構想調整会議、地域ケア会議等）への参画  
千葉県・市町村等関係会議 154回 関係団体等会議 95回
- 2) 多職種連携会議への参画 91回

## 3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進

### 3-3 訪問看護・看多機の推進

#### 実施内容

#### 1. 訪問看護師確保・育成

- 1) 訪問看護推進協議会の開催
- 2) 訪問看護師育成のための研修等
- 3) 新卒者等訪問看護師育成プログラムの活用拡大
- 4) 地域連携フォーラムの開催

#### 2. 訪問看護総合支援センター設置に向けた検討（再掲）

#### 3. 看多機に関する現状把握

- 1) 訪問看護推進協議会、関連機関等における情報収集

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

地域においては、疾病・障がい・健康等の状態にかかわらず全世代を対象に生活全般を支援する看護職がその機能を発揮し、関係機関・多職種との連携を推進する必要がある。

地域包括ケアの担い手となる訪問看護師数について、本県は全国において下位であることや小規模訪問看護ステーションが県内5割を占めていることから、訪問看護師の確保・育成を図る必要がある。その際には、新卒者等採用に向けた育成のため新卒者等訪問看護師育成プログラムの活用の拡大を図る。さらに、医療依存度の高い人、退院直後で状態が不安定な人、在宅での看取り支援など、住み慣れた自宅での療養を支える看多機（看護小規模多機能型居宅介護）の推進を図ることを検討する。

また、訪問看護提供体制の推進には、多職種・多機関の連携が重要であり、県内全体のさらなる推進を図ることが必要である。

#### 成果

##### 1. 訪問看護師確保・育成

- 1) 訪問看護推進協議会の開催 8/1 3/14 ハイブリッド
- 2) 訪問看護師育成のための研修等
  - ・訪問看護指導者育成研修会 9/23 10/21 集合 参加者 34名
  - ・学生向け訪問看護ガイダンス 教員対象 3回 学生対象 13回
  - ・新人育成交流会 8/19 集合 参加者 新人 12名 管理者等 16名
  - ・訪問看護師養成講習会 eラーニング・講義 (6/1Web 11/21Web 2/28 集合)  
実習 5日間 参加者 7名
- 3) 新卒者等訪問看護師育成プログラムの活用拡大
  - 支援中 1名 (新卒 1年目) 修了 1名 (転職) 終了 2名 (新卒 1年目 1名 転職 1名)
- 4) 地域連携フォーラムの開催 11/25 Web 参加者 28名

3. 看多機に関する現状把握

- 1) 訪問看護推進協議会、関連機関等における情報収集  
県内看多機事業所のリスト管理を開始

千葉県看多機連絡協議会会長及び副会長と情報交換 9/20

## 4 地域における健康危機管理体制の強化

### 4-1 新興感染症等パンデミックへの対応体制の強化

#### 実施内容

#### 1. 新興感染症等パンデミックへの対応体制の整備

- 1) 協定締結等による役割の明確化と連携強化
- 2) 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有
- 3) 支援体制の整備
- 4) 感染症対策を担う看護職の育成

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

この度の新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症による感染拡大は、世界的な問題であり、医療・看護の現場においては患者の受け入れや自施設で感染者の発生など、収束の予測がつかない中で長期的に広範囲に及ぶ対策に看護職の専門性を発揮し続けなければならない。感染症対策を安全・安心に継続するためには、情報の共有と関係機関の連携、看護職の役割の明確化が重要であり、協定締結と県対策本部への看護職の参加が必須となる。

また、必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である会員施設・会員からの情報・ニーズの把握により県内の情報収集をいち早く行うことが必要である。

さらには、感染症対策を担う看護職を育成し、現場の安全と安心を守る支援も重要となる。

#### 成果

- 1) 協定締結等による役割の明確化と連携強化（調整中）
- 2) 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有（感染症流行時）
- 3) 支援体制の整備

感染症対策出向支援 4回

- 4) 感染症対策を担う看護職の育成（再掲）

災害支援ナース養成研修 11/6 12/26 54名

12/6 1/10 103名

## 4 地域における健康危機管理体制の強化

### 4-2 大規模災害発生時の対応体制の強化

#### 実施内容

#### 1. 大規模災害発生時の対応体制の整備

- 1) 協定締結等による役割の明確化と連携強化
- 2) 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有
- 3) 災害支援ネットワークの強化
- 4) 災害に備えた支援体制の整備
- 5) 災害支援ナースの育成

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

近年の災害は広範囲に甚大な被害が頻発しており、平時から有事に向けた準備が必要とされる。現在、災害発生時の対応は県との間で平成13年8月に締結された「災害時の医療救護活動に関する協定書」により実施しているが、その活動は医療救護活動に協力するとされており、看護職が広範囲に活躍している実情にそぐわない現状がある。求められる支援に迅速に対応するためには、情報の共有と関係機関の連携、看護職の役割の明確化が重要であり、現行の協定の見直しと県対策本部への看護職の参加が必須となる。

また、必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である地区部会や会員施設・会員からの情報・ニーズの把握など、県内の情報収集をいち早く行うことが必要である。

#### 成果

- 1) 協定締結等による役割の明確化と連携強化（調整中）
- 2) 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有（県内被災時）
- 3) 災害支援ネットワークの強化
  - (1) 今年度新たに、「災害時情報連絡用紙（地区部会用）」を作成し、7/25 地区部会長会において説明及び配布  
災害時情報連絡用紙のホームページへの掲載
  - (2) 看護ちば147号に「災害支援ナースの新しい仕組み」について掲載  
新しい仕組みについてのリーフレットの送付（現登録者所属施設88 個人23）
  - (3) 利根地区部会研修会開催「地域における災害時の連携について」参加者22名  
（協会事務局共同開催）
- 4) 災害に備えた支援体制の整備  
次年度に向けた準備
- 5) 災害支援ナースの育成  
九都県市合同防災訓練（我孫子市）への参加 9/2 災害支援ナース6名  
災害支援ナース養成研修（再掲）

## 4 地域における健康危機管理体制の強化

### 4-3 協会における事業継続計画（BCP）の策定

#### 実施内容

#### 1. 協会における事業継続計画（BCP）の策定

##### 1) 事業継続計画（BCP）の検討

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

近年、広範囲に甚大な自然災害による被害が頻発しており、平時から有事に向けた準備が必要とされる。さらに、長期にわたる感染症の拡大による健康危機に対し、看護職が求められる支援に迅速に対応し、公益法人としての使命を果たすためには、事業継続計画（BCP）を作成し、県民の健康な生活の実現に寄与するという社会的な責任を果たす必要がある。

#### 成果

##### 1) 事業継続計画（BCP）の検討

- ・在宅医療提供機関における BCP（事業継続計画）策定支援研修の受講

12/9 1/20 2/17

## 5 組織基盤の強化

### 5-1 会員の定着・確保・拡大

#### 実施内容

#### 1. 会員増の推進

- 1) 新規・再入会の促進
- 2) 継続会員への勧奨
- 3) 情報発信の強化、広報の充実
- 4) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内
- 5) 新たな会員獲得のための方策検討

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

2025年、2040年を展望する課題への的確な対応を進めていくため、協会活動の基盤となる組織力の強化が不可欠である。(入会率50%以上)

職能団体の基盤となる会員の定着・確保・拡大に向け、できるだけ多くの看護職の結集を図ることが重要である。

当協会では、2020年より健康の保持増進、疾病予防、病気や障がいがあっても自分らしい生活が送れるよう「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の実現を目指している。実現のためには、看護政策を提案し、実行できる組織として、組織基盤の強化を図り、成長していく必要がある。

#### 成果

##### 1) 新規・再入会の促進

会員数 28,214名 (うち新規入会 2,079名) 入会率 45.5%

##### 2) 継続会員への勧奨

入会後のご案内『入会されたあなたへ～information～』等の送付 2,079名

##### 3) 情報発信の強化、広報の充実

##### 4) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内

(1) 学生表彰 34校 35名

(2) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 42校 2,727名

(3) 協会の機能と役割に係る特別講話 16校 (大学4校 専門学校12校)

##### 5) 新たな会員獲得のための方策検討

##### (1) 会員福利厚生充実

学研ビジュアルナーシングメソッドの提供 (新規入会者向け)

利用者数 29名

## 5 組織基盤の強化

### 5-2 看護政策推進力の強化

#### 実施内容

#### 1. 看護政策推進力の強化

- 1) 地区部会の活動・体制の強化
- 2) 職能間の連携強化
- 3) 看護協会の認知度の向上

#### 事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

組織基盤は、重点政策の着実かつ円滑な実施の土台となるものであり、その充実と強化に取り組む必要がある。

本協会は、保健師・助産師・看護師・准看護師のすべての職能が加入できる唯一の職能団体である。それぞれの職能の専門性を生かすとともに職能間の円滑な連携・調整のもと、社会の状況、医療・介護の現場の課題、国の政策・施策の動向を踏まえ事業を推進してきた。引き続き着実に政策推進の強化に取り組む必要がある。

#### 成果

##### 1) 地区部会の活動・体制の強化

###### 地区部会活動

役員会 66回（千葉4 市原7 船橋6 市川4 松戸6 東葛4 印旛5 利根8 山武7

長夷4 君津5 安房6）

連絡会 23回（千葉2 市原2 船橋2 市川2 松戸2 東葛2 印旛2 利根2 山武2

長夷2 君津2 安房1）

研修会 20回（千葉2 市原1 船橋2 市川1 松戸2 東葛1 印旛2 利根2 山武2

長夷2 君津2 安房1）

まちの保健室 21回（千葉2 市原1 船橋3 市川1 東葛4 利根2 山武2 長夷3

君津2 安房1）

地区活動の活性化等に係るモデル事業 2地区（利根 山武）

会計担当者会議 6/2

地区部会長会 7/25 1/16

他職種連携会議への参画 91回

##### 2) 職能間の連携強化

4職能委員長会 10/11 4職能委員会合同会議 11/10 1/15

##### 3) 看護協会の認知度の向上

県民向け広報誌の発行準備（令和6年4月発行予定）

【重点事業】

- 1 地域における看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の強化
- 5 組織基盤の強化

●事業計画は、定款第4条の7つの事業に沿って掲載

- I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業
- II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業
- III 訪問看護の推進に関する事業
- IV 県民の健康・福祉の増進に関する事業
- V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業
- VI 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業
- VII その他この法人が目的を達成するために必要な事業

重点事業：強調、新規事業：太ゴシック

I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

【目的】

県民に安全で安心な看護サービスを提供するため、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育の機会を提供し看護職の資質の向上を図る。

事業計画	実 績																																										
<p>1. 生涯教育 <span style="float: right;">重点事業2-1 111研修</span></p> <p>【目標】看護専門職として社会のニーズや医療の進歩に対応できる知識・技術を高め、より質の高い看護実践能力を習得できるように支援する。</p>	<p>1. 生涯教育（111研修中5研修中止+追加5研修 合計111研修実施） 令和5年度生涯教育研修 実施状況（P55～57）</p> <p>表1 研修実施状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">定員(名)</th> <th style="text-align: center;">受講者数(名)</th> <th style="text-align: center;">受講率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">8,016</td> <td style="text-align: center;">6,600</td> <td style="text-align: center;">82.3</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;">2,526</td> <td style="text-align: center;">1,204</td> <td style="text-align: center;">47.7</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td style="text-align: center;">10,625</td> <td style="text-align: center;">3,633</td> <td style="text-align: center;">34.2</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td style="text-align: center;">10,435</td> <td style="text-align: center;">4,564</td> <td style="text-align: center;">43.7</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td style="text-align: center;">8,855</td> <td style="text-align: center;">4,966</td> <td style="text-align: center;">56.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>表2 研修方法の実施状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>研修方法</th> <th style="text-align: center;">ライブ</th> <th style="text-align: center;">ライブ /対面</th> <th style="text-align: center;">オンデマンド /対面</th> <th style="text-align: center;">オンデマンド /ライブ</th> <th style="text-align: center;">対面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度 113研修</td> <td style="text-align: center;">93</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td>令和5年度 111研修</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">29</td> </tr> </tbody> </table>		定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)	令和元年度	8,016	6,600	82.3	令和2年度	2,526	1,204	47.7	令和3年度	10,625	3,633	34.2	令和4年度	10,435	4,564	43.7	令和5年度	8,855	4,966	56.1	研修方法	ライブ	ライブ /対面	オンデマンド /対面	オンデマンド /ライブ	対面	令和4年度 113研修	93	5	1	1	13	令和5年度 111研修	70	5	6	1	29
	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)																																								
令和元年度	8,016	6,600	82.3																																								
令和2年度	2,526	1,204	47.7																																								
令和3年度	10,625	3,633	34.2																																								
令和4年度	10,435	4,564	43.7																																								
令和5年度	8,855	4,966	56.1																																								
研修方法	ライブ	ライブ /対面	オンデマンド /対面	オンデマンド /ライブ	対面																																						
令和4年度 113研修	93	5	1	1	13																																						
令和5年度 111研修	70	5	6	1	29																																						

分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 17研修

- ・新興感染症・再興感染症について学ぶ
- ・看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践
- ・ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）  
～私にできること～
- ・高齢者を支える看護と高齢者虐待予防
- ・医療安全管理者養成研修【医療安全対策加算対応】【JNAインターネット配信研修〔オンデマンド〕】

分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育（17研修中17研修終了 追加3研修中3研修終了）

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
新興感染症・再興感染症について学ぶ	100	57	51	51.0
高齢者を支える看護と高齢者虐待予防	100	19	19	19.0
看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践	100	13	13	13.0
ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場） ～私にできること～	100	29	26	26.0
外来における在宅療養支援能力向上のための研修	70	41	39	55.7

「新興感染症・再興感染症について学ぶ」アンケート n=43 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	26 (60.5)	16 (37.2)	1 (2.3)	0
期待に沿っている	20 (46.5)	22 (51.2)	1 (2.3)	0

「高齢者を支える看護と高齢者虐待を考える」アンケート n=17 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	10 (58.8)	7 (41.2)	0	0
期待に沿っている	10 (58.8)	7 (41.2)	0	0

「看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践」アンケート

n=9 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	7 (77.8)	1 (11.1)	1 (11.1)	0
期待に沿っている	5 (55.6)	4 (44.4)	0	0

「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）～私にできること～」アンケート

n=24 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	11 (45.8)	13 (54.2)	0	0
期待に沿っている	13 (54.2)	11 (45.8)	0	0

アンケート 私にできることの記述

- ・職場全体のコミュニケーションスキルを上げること。目的のある会話の必要性。スタッフ全員がそれぞれの意見を尊重できるようにする。
- ・風通しの良い職場を目指す。
- ・今日学んだことをスタッフと共有し、現状を認識し課題の設定を統一したい。
- ・挨拶を大切にすること、相手をよく観察し目的をもって会話をする。

「外来における在宅療養支援能力向上のための研修 JNA eラーニング活用」

アンケート n=32 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	20 (62.5)	12 (37.5)	0	0
期待に沿っている	12 (37.5)	15 (46.9)	5 (15.6)	0

期待に沿っていない理由：講義内容が思ったものと違った4名

分類2：ラダーと連動した継続教育

76研修

- (1)ニーズをとらえる力 (5研修)
- (2)ケアする力 (12研修)
  - ・糖尿病合併症の重症化予防と看護

- (3)協働する力 (10研修)
  - ・よりよい人間関係を築くためのアサーション
  - ・アンガーマネジメントのコツを知ってストレス対策
  - ・成長を支えるためのレジリエンス (回復力) とセルフ・コンパッション (自分を思いやる力)

- (4)意思決定する力 (3研修)
  - ・アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を学ぼう

分類2：ラダーと連動した継続教育

(76研修中 71研修終了・5研修中止 追加2研修中 2研修終了)

- (1)ニーズをとらえる力 (5研修中 5研修終了)
- (2) ケアする力 (12研修中 8研修終了・4研修中止 追加2研修終了)

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
災害支援ナース養成研修1回目	100	60	55	55.0
災害支援ナース養成研修2回目	100	118	105	105.0

「災害支援ナース養成研修1回目」アンケート n=46 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	21 (45.7)	22 (47.8)	1 (2.2)	0
期待に沿っている	14 (30.4)	30 (65.2)	1 (2.2)	0

「災害支援ナース養成研修2回目」アンケート n=84 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	59 (70.2)	21 (25.0)	2 (2.4)	0
期待に沿っている	44 (52.4)	34 (40.5)	3 (3.6)	1 (1.2)

- (3)協働する力 (10研修中 10研修終了)

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
よりよい人間関係を築くためのアサーション	100	91	83	83.0
アンガーマネジメントのコツを知ってストレス対策	100	58	55	55.0
成長を支えるためのレジリエンス (回復力) とセルフ・コンパッション (自分を思いやる力)	100	50	48	48.0

「よりよい人間関係を築くためのアサーション」アンケート n=68 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	47 (69.1)	21 (30.9)	0	0
期待に沿っている	47 (69.1)	21 (30.9)	0	0

「成長を支えるためのレジリエンス (回復力) とセルフ・コンパッション (自分を思いやる力)」アンケート n=37 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	26 (70.3)	11 (29.7)	0	0
期待に沿っている	25 (67.6)	12 (32.4)	0	0

- (4)意思決定する力 (3研修中 3研修終了)

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を学ぼう	100	103	96	96.0

「アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を学ぼう」アンケート n=76 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	46 (60.5)	29 (38.2)	0	0
期待に沿っている	32 (42.1)	43 (56.6)	1 (1.3)	0

(5)看護共通 (46研修)

- ・2年目看護師として自己の成長をみつめて
- ・看護研究 指導編～研究の指導をするためのスキル～
- ・レポートや小論文の記述力を高めるために

分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 9研修

- ・看護補助者の活用促進のための看護管理者研修

JNA e-ラーニング活用【診療報酬対応】

- ・メンタルヘルス不調のラインによるケア～看護管理者の役割～

分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 3研修

- ・人を育てる臨地実習

分類5：資格認定教育 6研修

- ・訪問看護師養成講習会
- ・喀痰吸引指導者養成講習会
- ・令和5年度千葉県看護教員養成講習会
- ・認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 2回
- ・認定看護管理者教育課程 セカンドレベル

2. 千葉県看護研究学会

重点事業2-2

1)第41回千葉県看護研究学会

- ・開催日 令和5年10月13日（金）
- ・場 所 TKP東京ベイ幕張ホール

(5)看護共通 (46研修中 45研修終了・1研修中止)

分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 (9研修中 9研修終了)

研修名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
メンタルヘルス不調のラインによるケア～看護管理者の役割～	100	29	24	24.0

「メンタルヘルス不調のラインによるケア～看護管理者の役割～」アンケート n=19 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	15 (78.9)	4 (21.1)	0	0
期待に沿っている	11 (57.9)	7 (36.8)	1 (5.3)	0

分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実にむけた継続教育 (3研修中 3研修終了)

分類5：資格認定教育 (6研修中 6研修終了)

2. 千葉県看護研究学会

1)第41回千葉県看護研究学会

- 令和5年10月13日（金）TKP東京ベイ幕張ホール
- 特別講演 「未来へつなぐ看護の力～看護にしなやかな発想と創造を～」  
講師 千葉大学大学院看護学研究院 特任教授 島田陽子 氏
- 演題数 35題（研究発表22題 実践報告13題）20施設から申込
- 交流集会 3題
- 研修支援 3施設
- 参加者数 191名

アンケート

学会の内容は期待に沿うものだったか n=95 名 (%)

大変期待に沿っていた	期待に沿っていた	あまり期待に沿っていない
23 (24.2)	69 (72.6)	3 (3.2)

交流集会に関するアンケート

- ・自由に発言できるため意見交換がしやすかったです。
- ・思っていた以上に面白く、実際に他の看護師と交流が持てて、今後の仕事にも自己研鑽にも繋がりました。
- ・自施設の自分自身も関わっていた内容だったので、他施設の方の意見が聞いて参考になりました。

研究支援コーナーを次年度も設けた場合に参加するか n=95 名 (%)

是非参加したい	機会があったら参加したい	参加しない	分からない
7 (7.4)	52 (54.7)	6 (6.3)	30 (31.6)

3. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進  
**重点事業2-3**

- 1)認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活用  
(1)講師等人材登録事業の運用  
(2)生涯教育研修における担当講師

4. 特定行為研修制度の普及 **重点事業2-4**

- 1)特定行為研修制度に関する研修  
・**看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践（再掲）**

5. 中小規模病院看護管理者の育成 **重点事業2-5**

【目的】臨床現場を離れて研修を受けにくい状況にある中小規模病院の看護管理者が、院内で期待される本来の役割を果たすため、看護管理能力の向上を目指し、知識等を習得し、地域に共通する課題の解決に向けた方向性を見出す。

- 1)中小規模病院看護管理者の研修・情報交換会

6. 委員会の開催

- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1)教育委員会             | 6回 |
| 2)看護研究委員会           | 6回 |
| 看護研究倫理審査委員会         | 随時 |
| 3)認定看護管理者教育課程運営委員会  | 4回 |
| 4)千葉県看護教員養成講習会運営委員会 | 1回 |

7. 医療安全対策の推進 **重点事業2-6**

【目的】医療関係者の医療安全対策に関する意識の向上と普及啓発を図り、医療安全管理者の育成とスキルアップの支援、関係機関との連携による医療安全対策ネットワークを構築する。また、県内の医療機関へ医療安全の周知を行うとともに、医療事故調査制度の開始に伴った情報を提供していくことで、県民に安全・安心な質の高い医療・看護を提供する。

- 1)医療・看護に関する相談支援、情報提供  
(1)医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介  
(2)「世界患者安全の日」の啓発

3. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進

- 1)専門・認定看護師制度の普及・活用  
(1)講師等人材登録 登録者数 35名  
(2)生涯教育研修の担当講師  
専門・認定看護師の講師 37研修 67名

4. 特定行為研修制度の普及

- 1)特定行為研修制度に関する研修  
・**看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践（再掲）**

5. 中小規模病院看護管理者の育成

- 1)中小規模病院看護管理者の研修・情報交換会

対 象 県内中小規模病院（300床未満）看護部門のトップマネージャー（看護職）

内 容 講義「次世代を担う看護管理者の人材育成」  
グループワーク「次世代の育成、地域での課題等」

参加者 利根地区 9/29 6名  
君津地区 10/31 3名  
東葛地区 1/19 5名

アンケート

3地区すべて、講義が参考になった及び情報交換会が有意義だった 100%

感想

- ・近隣の看護管理者の方々と関係が深まった。これから繋がっていけると思う。
  - ・日々苦しかったが、色々なお話が聴けて勇気をもらえた。
  - ・看護部長は孤独と感じていたが、同じように悩んでいることが分かり、力になった。今後は相談できると思った。
- 不参加施設にアンケート実施（利根地区、君津地区）  
不参加施設へのアンケート
- ・次世代の育成等の課題を認識しているが、日程の都合がつかず不参加
  - ・地域での病院の連携は重要と認識している
  - ・希望研修内容は、ハラスメント・リスクマネジメント等

6. 委員会の開催

- |                     |      |      |      |       |      |      |
|---------------------|------|------|------|-------|------|------|
| 1)教育委員会             | 5/30 | 7/31 | 9/21 | 11/14 | 1/25 | 3/11 |
| 2)看護研究委員会           | 5/26 | 7/14 | 9/22 | 11/17 | 12/8 | 2/9  |
| 看護研究倫理審査委員会         |      |      |      |       |      |      |
| 3)認定看護管理者教育課程運営委員会  | 4/24 | 8/28 | 1/22 | 3/6   |      |      |
| 4)千葉県看護教員養成講習会運営委員会 | 1/18 |      |      |       |      |      |

7. 医療安全対策の推進

- 1)医療・看護に関する相談支援、情報提供  
(1)医療事故調査委員会委員派遣 1件  
(2)情報提供「世界患者安全の日」の啓発  
看護ちば・ホームページへの掲載  
看護会館・ナースセンターへのポスターの館内掲示

2)医療安全の推進

(1)医療安全大会の開催

- ・開催日 令和5年11月19日(日)
- ・場所 幕張メッセ国際会議場

2)医療安全の推進

医療安全推進週間 11/19～11/25

(1)医療安全大会の開催

- 開催日 11/19
- 場所 幕張メッセ国際会議場 国際会議室
- 参加者 274名(看護職200名 72.9%、看護学生35名 12.8%、他職種35名 12.8%) (前年度35名) その他4名 1.5%
- テーマ 心理的安全性を実現する組織作り
- 内容 特別講演  
「学習する組織を育てる」  
講師 大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部  
病院教授/部長 山口(中上)悦子氏  
シンポジウム  
「心理的安全性を実現するために、私ができること、したいこと」

アンケート n=157 回収率57.3%

特別講演は参考になりましたか?	回答数(名)	割合(%)
大変参考になった	120	76.4
参考になった	36	22.9
あまり参考にならなかった	1	0.6
	157	100.0

シンポジウムは参考になりましたか?	回答数(名)	割合(%)
大変参考になった	77	49.0
参考になった	69	43.9
あまり参考にならなかった	3	1.9
シンポジウムを聞いていない	8	5.1
	157	100.0

(2)医療安全推進の普及啓発

- ・医療安全に関する標語の募集
- ・医療安全に関するチーム活動の募集
- ・ポスター等による普及啓発

(2)医療安全推進の普及啓発

- ・医療安全に関する標語

	令和5年度	令和4年度
応募者数(名)	1,422	712
内訳	看護職(名)	483
	他職種(名)	229
応募施設数(施設)	78	48

- 最優秀賞 「フルネーム 患者と共に 声に出し」
- 優秀賞 「事前の気付きに ありがとう」
- ・ポスター等による普及啓発  
発送 県内289病院、保健センター等50公的機関  
その他会員施設327施設、他団体・企業等25施設
- ・医療安全に関するチーム活動  
応募数5活動(病院5施設)  
最優秀賞「患者確認の定着に向けた取り組み」  
医療安全大会での発表、協会ホームページでの公表

アンケート(医療安全大会) n=157 回収率57.3%

最優秀賞チーム活動の紹介は参考になりましたか?	回答数(名)	割合(%)
大変参考になった	79	50.3
参考になった	58	36.9
あまり参考にならなかった	3	1.9
紹介を聞いていない	17	10.8
	157	100.0

3)医療安全管理者の育成

- (1)医療安全管理者養成研修会(再掲)
- (2)医療安全担当者中央交流会 (1回)

(3)医療安全担当者地区交流会

4)関係機関等との連携促進

- 5)医療安全委員会の開催 6回

8. 図書室の運営管理

- 1)図書室の管理運営
- 2)資料・文献検索・レファレンス・メールによる文献複写等の相談 等

3)医療安全管理者の育成

- (1)医療安全管理者養成研修会 (生涯教育研修別表参照)
- (2)医療安全担当者中央交流会 (1回) 7/29  
 申込者113名 (令和4年度90名)  
 参加者91名 (令和4年度69名)

アンケート

n=58 回収率63.7%

アンケート項目	はい	いいえ
ディスカッションに参加し自身で何かできそうか	55	3
交流会に参加し何か見出すことができたか	56	2

交流会に参加して「他病院の取り組みを聞き、自施設での医療安全対策に関してとても参考になった」・「同じ医療圏・地区の病院と交流する貴重な機会となった」と感想があった。

(3)医療安全担当者地区交流会

船橋地区	9/7	35名		
山武地区	9/16	42名		
市川地区	10/7	10名		
印旛地区	10/28	24名	合計	111名

参加者職種内訳

職種	看護師	保健師	助産師	臨床工学技士	理学療法士	診療放射線技師
参加人数	66	10	1	8	7	1
職種	薬剤師	事務職	栄養士	介護職	その他	未記入
参加人数	6	1	1	1	2	7

アンケート

n=111 回収率100%

	そう思う	未記入
研修内容は現場に活用できるか	105	6

感想

- ・部署でチームステップスを活用するためのヒントが得られた。
- ・体験をして、身をもって感じる事ができたので、チーム力UPのために、活かしていきたい。
- ・同じ地区で勤務している人達との研修は初めてだったが、一体感を感じた。
- ・多職種交流会が有効で、他施設の情報も知ることができて良かった。

4)関係機関等との連携促進

- 5)医療安全委員会 8/24 9/28 11/30 1/25 2/22

8. 図書室の運営管理

- 1)図書室の管理運営
- 2)資料・文献検索・レファレンス

## II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

### 【目的】

ヘルシーワークプレイスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の定着・確保を図る。

事業計画	実績																				
<p>1. 第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進 <b>重点事業1-1</b></p> <p>【目的】看護職が働き続けられる職場づくりを目指して、看護職の定着・確保を図る</p> <p>1)看護職定着・確保推進計画の中間評価 2)看護職定着確保対策協議会の開催 1回</p> <p>3)看護職定着・確保対策事業の普及啓発 (1)「看護ちば」、ホームページ等による広報 (2)各種協会事業を通じた普及 4)労働環境改善委員会の開催 6回</p> <p>2. 看護職の労働環境の向上</p> <p>【目的】県内に働く看護職の定着を図るとともに、専門性を発揮しヘルシーワークプレイスを踏まえ働き続けられるための環境づくりを推進する。</p> <p>1)ヘルシーワークプレイス推進事業 <b>重点事業1-2</b> (1)ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加 (2)「ヘルシーワークプレイス推進週間」の推進 ・ホームページ及び「看護ちば」 ・ヘルシーワークプレイス取組施設交流会 ・職員の健康づくりの取組事例の紹介</p> <p>(3)「ヘルシーワークプレイス研修」(再掲)</p> <p>(4)ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化 ・電話相談 ・施設支援</p>	<p>1. 第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進</p> <p>1)看護職定着・確保推進計画の推進・中間評価 2)看護職定着確保対策協議会の開催 1/11 (1)第5次看護職定着・確保推進計画の進捗状況と中間評価について (2)意見交換 3)看護職定着・確保対策事業の普及啓発 (1)「看護ちば」、ホームページ等による広報 (2)各種協会事業を通じた普及 4)労働環境改善委員会の開催 7/14 9/8 11/10 12/8 1/12 2/9</p> <p>2. 看護職の労働環境の向上</p> <p>1)ヘルシーワークプレイス推進事業 (1)ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加 応募施設3施設 (2)「ヘルシーワークプレイス推進週間」の推進 10/1～10/7 ・ホームページ及び「看護ちば」145号(4月) 146号(7月) 147号(10月号) 148号(1月号) ・ヘルシーワークプレイス交流会 10/5 会 場 ホテルポートプラザちば テーマ 「看護職が健康で安全に働き続けられる職場環境をつくる」 —自施設での課題・取り組みについてお互いに話し、改善のヒントを探る— (4病院からの取組発表、グループディカッション) 参加者 54名 (看護部長・副部長38.2% 看護師長相当49.2%) アンケート結果 自施設で活用できるヒントがあった。自部署での取り組みの確認ができた等 (3)ヘルシーワークプレイス研修 2/1 (再掲)参加者 26名 (4)ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援の強化 ・相談窓口による支援 延63件 相談方法 来所5件 電話47件 メール11件 相談者属性 看護管理者 延5件 個人 延58件 相談内容別内訳 (延件数)</p> <p>看護管理者 (延べ5件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> <th>相談内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>離職・定着確保</td> <td>1</td> <td>就業規則</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>労働衛生・メンタルヘルス対策</td> <td>1</td> <td>就業規則・教育体制</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理体制づくり</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	相談内容	件数	相談内容	件数	離職・定着確保	1	就業規則	1	労働衛生・メンタルヘルス対策	1	就業規則・教育体制	1	管理体制づくり	1			合 計			5
相談内容	件数	相談内容	件数																		
離職・定着確保	1	就業規則	1																		
労働衛生・メンタルヘルス対策	1	就業規則・教育体制	1																		
管理体制づくり	1																				
合 計			5																		

個人（延べ 58件）

相談内容	件数	相談内容	件数
対人・人間関係	22	夜勤	2
ハラスメント・いじめ	10	休日有給休暇	2
育児・介護との両立	6	メンタル	2
健康不安(含む感染リスク)	5	就業前の不安	2
職場の対応	3	新卒新人のリアリティショック	1
業務内容	3		
合 計			58

(5)ハラスメント対策強化への働きかけ

・施設支援 45件  
 支援方法 訪問42件 電話3件  
 施設種別 病院39件 福祉・介護施設5件 訪問看護ステーション1件  
 (5)ハラスメント対策強化への働きかけ  
 啓発のためのリーフレットを9,000部作成 会員施設及び個人会員に配布

2) 令和5年度看護補助者キャンペーンウィーク事業（日本看護協会委託事業）

(1)会員等施設代表者会にて、リーフレット配布 7/19

(2)求職者対象イベント 7/21 参加者 9名

目的 県内の施設において、看護補助者の確保が課題となっており、一般の求職者に看護補助者の働き方等を周知することにより、求職者に対する看護補助者への興味関心や認知度の向上を図る。

対象 求職者

会場 千葉県看護会館中研修室

内容 講義「今、求められています。看護補助者の仕事とは」  
 —具体的な業務内容や1日のスケジュール等について

お話しします—

講義「実際の看護補助者の業務内容について」

—現役看護補助者からのお話—

3. ナースセンター事業(千葉県委託)の推進

重点事業1-3

【目的】 ナースセンターに登録している未就業看護職等に対する復職支援及び職業紹介を行うとともに、看護職の定着・確保に寄与する。

1)看護職の定着確保に係る実態調査

3. ナースセンター事業(千葉県委託)

1)看護職の定着確保に係る実態調査

(1)病院看護管理者 期間 4/26～5/15 対象 289施設  
 回収数 163施設（回収率56.4%）

(2)未就業看護職 期間 5/12～5/31 対象 170名  
 回収数 32名（回収率18.8%）

(3)新人看護職 期間 9/15～9/29  
 対象 会員施設622施設及び訪問看護ステーション管理者調査において新人を採用したと回答した4施設に所属する全ての新人看護職員  
 回収数 949名

(4)訪問看護ステーション管理者 期間 6/16～6/30 対象 566施設  
 回収数 192施設（回収率33.9%）

(5)統括保健師 期間 6/6～6/20  
 対象 県及び54市町村の統括保健師  
 回収数 43名（回収率78.2%）

(6)現任教育責任者 期間 6/6～6/20  
 対象 県保健所現任教育責任者13名  
 回収数 11名（回収率84.6%）

(7)再就業実態調査 期間 5/26～6/9 対象 207名  
 回収数 50名（回収率24.2%）

離職率 (％)

	5年度	4年度	JNA 5年度
常勤看護職員	13.5%	12.2%	11.8%
新卒看護職員	10.7%	11.4%	10.2%
既卒看護職員	17.6%	13.3%	16.6%

離職理由

	1位	2位	3位
常勤看護職員	転職・進学等	転居	健康上の理由
新卒看護職員	メンタルヘルス不調	転職・進学等	健康上の理由
既卒看護職員	健康上の理由 転職・進学等		転居

(新人看護職)

- ・社会人経験について ある182名(19.2%) ない767名(80.8%)
- ・やめたいと思ったこと ある607名(64.0%、前年度69.9%)
- ・やめたいと思った理由 勤務時間内に仕事が終わらない 57.0%  
自分は看護職に向いていないのではないかと  
思う 53.2%  
医療事故を起こさないか心配 50.4%
- ・就業2年目に向けて勤務先に希望すること  
感染に対する知識・技術等についてもっとフォローして欲しい 39.5%  
相談できるサポート体制を充実して欲しい 33.2%  
交流の場が欲しい 23.9%  
感染に対する知識・技術を習得したい 23.0%

(訪問看護ステーション管理者)

- ・離職率 常勤 17.5% 非常勤 17.6% 既卒 27.8%

離職理由

	1位	2位	3位
常勤看護職員	職場の労働条件・ 労働環境への不満	健康上の理由 メンタルヘルス不調	
非常勤看護職員	健康上の理由	家族の介護 転職・進学等	
既卒看護職員	健康上の理由	職場の労働条件・労働環境への不満 他の訪問看護ステーションへ転職	

(県・市町村の統括的役割を果たす保健師)

離職率 県：4.1% 市町村：6.5%

離職理由

	1位	2位	3位
	転職・進学等	結婚・妊娠 出産・育児	健康上の理由

2)看護職の無料職業紹介

2)看護職の無料職業紹介 ( )内は前年度の実績

- eナースセンター利用者数 10,354名 (9,449名)
- 新規求人数 2,445名 (2,176名)
- 新規求職者数 683名 (953名)
- 紹介者数(応募者数) 538名 延654名 (773名 延828名)
- 就業者数 389名 (554名)

3)届出制度

3)届出制度

- (1)届出者数 734名 代行届出数 387名 代行届出率 52.7%  
(前年度 961名 代行届出数 566名 代行届出率 58.9%)
- (2)一斉メール等によるeナースセンターへの登録の推進  
月1回届出者にメール送信
- (3)合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供
- (4)届出者に対する就業支援(電話・メール等)
- (5)郵送による就業調査(届出の3ヶ月後)  
発送数 204名  
回収数 74名  
就業者数 36名

<p>4) 未就業看護職の就業支援</p> <p>(1)看護基礎技術講習会</p> <p>(2)合同就職説明会</p> <p>(3)看護職への求人情報の提供</p> <p>(4)公共職業安定所と連携した相談ブースの設置</p> <p>(5)サテライト事業の推進</p> <p>(6)就業相談推進アドバイザーによる求人施設の情報収集</p> <p>(7)プラチナナース研修会</p> <p>(8)ナースセンター来所者、公共職業安定所相談者への就業確認</p> <p>(9)未就業者へのeラーニング研修</p> <p>5)ナースセンター運営委員会</p> <p>6)ナースセンター事業の広報</p> <p>7)日本看護協会・中央ナースセンターと公共職業安定所等との連携</p> <p>8)看護職への相談支援</p>	<p>4) 未就業看護職の就業支援</p> <p>(1)看護基礎技術講習会（6回/月程度開催） 60回実施 参加者100名（延148名） 就業者57名（就業率57.0%） （前年度63回実施 参加者106名延126名 就業者56名 就業率52.8%） 内容 採血・点滴・筋肉注射・皮下注射・吸引・経管栄養・インスリン注射・CVポート管理・膀胱留置カテーテル挿入・摘便</p> <p>(2)合同就職説明会の開催（年2回開催） 第1回 8/26 集合開催 300床未満の病院対象 求人施設22施設、求職者21名参加、就業者10名 第2回 11/11 集合開催 診療所・介護施設対象 求人施設19施設、求職者23名参加、就業者11名</p> <p>(3)看護職への求人情報の提供 6月 9月 12月 3月</p> <p>(4)公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 73回開催・相談者120名</p> <p>(5)サテライト事業の推進 ・公共職業安定所と連携した相談ブースの設置（再掲） ・合同就職説明会の開催（再掲）</p> <p>(6)就業相談推進アドバイザーによる求人施設の情報収集 施設訪問実績無し</p> <p>(7)プラチナナース研修会 8/25 集合開催 参加者 48名(就業中44名、未就業者4名) アンケート ・研修内容の満足度 プラチナナースとしての活動の実際 97.7% 求人施設からプラチナナースに期待すること 97.7% 人生100年時代に向けたマネープラン 95.4%</p> <p>(8)ナースセンター来所者、公共職業安定所相談者への就業確認 2月郵送 発送数 231名 回収数 85名（内Web回答 32名） 就業者数 50名（内Web回答 28名）</p> <p>(9)未就業者へのeラーニング研修 学研ナーシングサポート 49名（前年度 49名） 総視聴時間480時間（前年度 183時間） ビジュアルナーシングメソッド 44名（前年度 49名） 総視聴時間224時間（前年度 75時間） 就業率 43.1% アンケート ・知ったきっかけ ホームページや案内メール 86.7% ・必須項目の参考度 参考になった 82.2% ・受講後の就業意欲 高まった 73.4% ・受講期間 短かった 64.4%</p> <p>5)ナースセンター運営委員会の開催 12/21 (1)令和4年度千葉県ナースセンター事業報告について (2)令和5年度千葉県ナースセンター事業計画及び進捗状況について (3)ナースセンター事業の今後の方向性について (4)意見交換</p> <p>6)ナースセンター事業の広報 リーフレットの配布、「看護ちば」145号 146号 147号 148号掲載</p> <p>7)日本看護協会・中央ナースセンターと公共職業安定所等との連携 (1)2023年度ナースセンター事業担当者会議（日本看護協会主催） 6/2 (2)2023年度ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議 8/22/1 (3)2023年度都道府県ナースセンター就業相談員研修 9/13 (4)2023年度キャリアコンサルティング研修 11/9 11/29 12/13 12/14 12/20 (5)2023年度地域に必要な看護職確保推進事業報告会 2/29 (6)看護資格の活用基盤強化及び看護補助者の確保・定着に関する説明会 3/6 (7)第7次NCCSの機能に関する説明会 3/15</p> <p>8)看護職への相談支援 3,898名</p>
---	--

<p>9)看護進路相談事業 (1)出前授業</p> <p>(2)ふれあい看護体験</p> <p>(3)進路相談</p> <p>10)訪問看護再就業支援事業 11)ナースセンター維持管理</p>	<p>9)看護進路相談事業 (1)出前授業 (いのちの大切さ 看護進路等) 申 込 37校 (小学校7校 中学校23校 高等学校7校) (前年度 40校 小学校10校 中学校22校 高等学校8校) 参加者 3,377名 (前年度 3,558名) 地区別内訳 千葉 9校 船橋 4校 市川 4校 松戸 1校 東葛 5校 印旛 6校 山武 3校 利根 3校 君津 2校 テーマ別内訳 いのちの大切さ 19校 看護の仕事 14校 いのちの大切さ+看護の仕事 4校</p> <p>(2)ふれあい看護体験 協力施設 82施設 実施施設(延べ) 120施設 (前年度 協力施設 58施設 実施施設(延べ) 35施設) 参加者 996名 (前年度 532名) アンケート n=842 回収率84.5% 学年 中学生 2.0% 高1 9.1% 高2 22.1% 高3 59.3% 未記入 7.5% 応募の動機 (複数回答) ・看護師への進路希望 687件 ・医療系に興味がある 171件 ・看護師の仕事内容に興味がある 169件</p> <p>(3)進路相談 相談件数 28件 (前年度 26件)</p> <p>10)訪問看護再就業支援事業 11)ナースセンター維持管理</p> <p>4. 2023年度「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント」(日本看護協会委託事業) 12/2 目的 自治体保健師の魅力を現場の保健師が伝え、県内自治体への保健師の確保を図る。 対象 看護学生、学生の保護者、保健師資格保有者 会場 モリシアホール 参加自治体数 10自治体 参加者数 43名 内容：第一部「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのWebイベント」 パブリックビューイングによる自治体保健師活動の講演及び座談会 第二部「自治体保健師との相談会」</p>
--	---

III 訪問看護の推進に関する事業	
【目的】 在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。	
事業計画	実 績
<p>1. 訪問看護推進事業 (千葉県委託) <b>重点事業3-3</b> 【目的】在宅療養を円滑に導入するため、訪問看護サービスの内容、利用方法、利用料など訪問看護に関して、県民や看護職等専門職からの相談に応じるとともに、関係職種が訪問看護に関する理解を深め、連携を強化し情報の共有化を図り、安心して在宅療養ができるように訪問看護を推進する。</p> <p>1)訪問看護推進協議会の開催 (1)会議の開催 2回 (2)部会の開催 <b>重点事業1-5-1</b> ・訪問看護総合支援センター (仮称) 設置の実現に向けた継続的な検討</p>	<p>1. 訪問看護推進事業 (千葉県委託)</p> <p>1)訪問看護推進協議会の開催 (1)会議の開催 8/1 2/3 会場 千葉県看護協会 (2)部会の設置 ・訪問看護総合支援センター (仮称) 設置に関する検討部会</p>

2)訪問看護に関する総合相談	<p>2)訪問看護に関する総合相談 相談件数 42件 (前年度47件) 相談者内訳 看護職17件 県民9件 ケアマネジャー 8件 事務職5件 リハ職1件 その他2件 相談者属性 訪問看護従事者13件 その他従事者11件 県民5件 相談内容内訳 訪問看護サービスに関すること24件 運営管理に関すること6件 介護に関すること2件 処置に関すること3件 その他7件</p>																																
3)地域連携フォーラムの開催	<p>3)地域連携フォーラム 11/25 Web 参加者 28名 看護職20名 (訪問看護師3名含む) 介護支援専門員4名 薬剤師1名 ソーシャルワーカー等3名 テーマ その人らしい生活を支えるために 内容 実践報告 (県看多機協議会会長 千葉市歯科医師会理事) グループディスカッション</p>																																
4)パンフレットの配布等	<p>アンケート n=26 (%)</p> <table border="1" data-bbox="735 555 1481 651"> <thead> <tr> <th></th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実践報告</td> <td>18 (64.3)</td> <td>8 (28.5)</td> <td>0 (0.0)</td> </tr> <tr> <td>グループディスカッション</td> <td>20 (71.4)</td> <td>5 (17.8)</td> <td>1 (3.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>感想 役割の違う多職種の専門性を生かしながら、顔の見える支援者どうしの 連携のより良い方法について、解決策のヒントを得る機会となった。</p>		満足	やや満足	やや不満	実践報告	18 (64.3)	8 (28.5)	0 (0.0)	グループディスカッション	20 (71.4)	5 (17.8)	1 (3.6)																				
	満足	やや満足	やや不満																														
実践報告	18 (64.3)	8 (28.5)	0 (0.0)																														
グループディスカッション	20 (71.4)	5 (17.8)	1 (3.6)																														
5)訪問看護指導者育成研修会 2回	<p>4)パンフレットの配布 「訪問看護利用の手引き」 マイナースとつくる安全で安心な在宅での生活 方法 当協会ホームページに掲載 (ダウンロード可)</p> <p>5)訪問看護指導者育成研修会 9/23 10/21 会場 千葉県看護協会 参加者 34名 (1回目17名 2回目17名) 内容 1回目 経営管理と人材育成 2回目 BCP作成 方法 講義及びグループディスカッション、演習</p>																																
6)訪問看護再就業支援事業 <b>重点事業1-3-1</b>	<p>アンケート n=8 (%)</p> <p>1回目 (講義とグループディスカッション)</p> <table border="1" data-bbox="735 1025 1481 1249"> <thead> <tr> <th></th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護を取り巻く社会状況と 管理者に求められる役割</td> <td>8 (100)</td> <td>0 (0.0)</td> </tr> <tr> <td>訪問看護ステーションの 経営管理について</td> <td>7 (87.5)</td> <td>1 (12.5)</td> </tr> <tr> <td>訪問看護における人材確保と 育成について</td> <td>8 (100)</td> <td>0 (0.0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2回目 (講義と演習) n=16 (%)</p> <table border="1" data-bbox="735 1281 1481 1413"> <thead> <tr> <th></th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講義</td> <td>6 (37.5)</td> <td>7 (43.8)</td> <td>3 (18.7)</td> <td>0 (0.0)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成</td> <td>やや達成</td> <td>やや未達成</td> <td>未達成</td> </tr> <tr> <td>演習</td> <td>3 (18.7)</td> <td>9 (56.3)</td> <td>3 (18.7)</td> <td>1 (6.3)</td> </tr> </tbody> </table>		満足	やや満足	訪問看護を取り巻く社会状況と 管理者に求められる役割	8 (100)	0 (0.0)	訪問看護ステーションの 経営管理について	7 (87.5)	1 (12.5)	訪問看護における人材確保と 育成について	8 (100)	0 (0.0)		満足	やや満足	やや不満	不満	講義	6 (37.5)	7 (43.8)	3 (18.7)	0 (0.0)		達成	やや達成	やや未達成	未達成	演習	3 (18.7)	9 (56.3)	3 (18.7)	1 (6.3)
	満足	やや満足																															
訪問看護を取り巻く社会状況と 管理者に求められる役割	8 (100)	0 (0.0)																															
訪問看護ステーションの 経営管理について	7 (87.5)	1 (12.5)																															
訪問看護における人材確保と 育成について	8 (100)	0 (0.0)																															
	満足	やや満足	やや不満	不満																													
講義	6 (37.5)	7 (43.8)	3 (18.7)	0 (0.0)																													
	達成	やや達成	やや未達成	未達成																													
演習	3 (18.7)	9 (56.3)	3 (18.7)	1 (6.3)																													
(1)訪問看護基礎研修会 4回	<p>6)訪問看護再就職支援事業 (1)訪問看護基礎研修会 4回 会場 千葉県看護協会 1日コース 7/21 10/23 12/25 (講義のみ15名 講義 技術体験27名) 半日コース (講義のみ) 8/29ハイブリッド (会場4名 Web 5名) 参加者 51名 訪問看護への就業者 7名 アンケート 就業意欲が高まった93.9%</p>																																
(2)訪問看護ステーション見学体験事業	<p>(2)訪問看護ステーション見学体験事業 (8月～2月) 実施者7名 訪問看護への就業者2名</p>																																
(3)訪問看護就職フェア 1回	<p>(3)訪問看護就職フェア12/9 会場 千葉県看護協会 参加者 15名(うち学生5名) 求人施設16ヶ所 訪問看護への就業者 1名 内容 講演・就業相談 (訪問看護ステーション 就業相談推進ア ドバイザー)</p>																																
7)訪問看護病院経営者 (看護管理者) 講習会 1回	<p>7)訪問看護病院経営者 (看護管理者) 講習会 1/27 会場 ホテルプラザ菜の花 参加者数 17名 (訪問看護未設置2名)</p>																																
8)学生向け訪問看護ガイダンスの実施	<p>8)学生向け訪問看護ガイダンス 実施回数 教員対象3校 (参加者6名) 学生対象13校 (参加者791名) 内容 講義1 在宅医療を取り巻く状況と訪問看護師の育成 (新卒者等 訪問看護師育成プログラムの紹介) 講義2 育成プログラムを利用した新卒訪問看護師からの体験談</p>																																

<p>2. 訪問看護推進事業（協会単独事業） <b>重点事業3-3-1</b>  <b>【目的】</b> 在宅医療の中核を担う訪問看護を安定的にかつ質の高い提供を行うために、訪問看護を提供する人材の育成及び訪問看護ステーションの業務の効率化等に向けた支援を行い、訪問看護師の定着を図る。</p> <p>1)訪問看護師人材育成事業  (1)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」を活用した人材育成支援事業  対象：新卒訪問看護師、チャレンジ看護師、転職看護師</p> <p>(2)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」活用拡大に関する運用評価</p> <p>(3)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」を活用した人材育成事業の普及</p> <p>(4)訪問看護師養成講習会（再掲）</p> <p>2)看護小規模多機能型居宅介護（看多機）に関する現状把握 <b>重点事業3-3-3</b>  (1)訪問看護推進協議会、関連会議等における情報収集</p> <p>3. 関係団体との連携  <b>【目的】</b> 高齢化の進展や在宅日数の短縮等に伴い、医療ニーズの高い在宅療養者の増加が予測される中、質の高い在宅医療の推進が重要な課題となっている。  訪問看護に関する事業を円滑に推進するために、関係機関との連携を強化し、情報収集等を行い課題解決への参考とする。</p> <p>1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携  2)千葉県訪問看護ステーション協会等との連携</p>	<p>2. 訪問看護推進事業（協会単独事業）</p> <p>1)訪問看護師人材育成事業  (1)新卒者等訪問看護師育成プログラム（以下「新卒プログラム」）を活用した人材育成支援事業  育成支援実施 新卒看護師2名(育成期間2年中1年目1名 終了1名) 転職看護師2名(育成期間1年 修了1名 終了1名)  平成24年度からの累積人数 新卒看護師15名 転職看護師2名  チャレンジ看護師21名  新人育成交流会 8/19 会場 千葉県看護協会  参加者 新人（2年未満）12名 管理者等16名  講演 「訪問看護に期待すること」「新卒プログラム活用の実際」  交流会 「新人グループ」「管理者等グループ」で実施  アンケート 「横のつながりをつくる」達成・やや達成100%  「新人育成に役立つ（管理者等）」該当・やや該当100%  「就業継続の意欲向上（新人）」該当・やや該当100%</p> <p>(2)「新卒プログラム」活用拡大に関する運用評価  実務研修の実施要領等</p> <p>(3)「新卒プログラム」を活用した人材育成事業の普及  訪問看護ガイダンス（再掲）による周知</p> <p>(4)訪問看護師養成講習会の開催（再掲）</p> <p>2) 看護小規模多機能型居宅介護（看多機）に関する現状把握</p> <p>(1)訪問看護推進協議会、関連会議等における情報収集  千葉県看多機連絡協議会との情報交換 9/20 千葉県看護協会  第1回ちば看多機研究会 2/10 千葉県社会福祉センター</p> <p>3. 関係団体との連携</p> <p>1)看護協会・訪問看護事業協会合同会議 11/17  2)千葉県訪問看護ステーション協会等との連携  千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議  7/22 2/3 会場 千葉県看護協会 事務局 千葉県看護協会</p>
--	--

IV 県民の健康・福祉の増進に関する事業	
<b>【目的】</b> 看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への理解を深める。	
事業計画	実績
<p>1. 「看護の日」「看護週間」事業 <b>重点事業1-4</b>  <b>【目的】</b> 若年層を中心とした県民に、実際の看護体験を伝え、看護への興味・関心を深め、看護職への就業促進を図る。</p> <p>1)令和5年度「看護の日・看護週間」事業  (1)中央行事の開催  開催日 令和5年5月13日（土）  場 所 ペリエホール</p>	<p>1. 「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>1)令和5年度「看護の日・看護週間」事業  (1)中央行事の開催  開催日 令和5年5月13日（土）  場 所 ペリエホール  テーマ 看護の心をみんなの心にー看護の力で未来を支えようー</p>

(2)地区部会での行事の開催

開催日 各地区部会で設定した日

会場 地区部会ごとに決定した施設

内容 若年層をターゲットとした看護の魅力が伝わる内容

2)実行委員会の開催

3)ナースングデイ&ウィーク(「看護の日」事業報告書)配布

2.「まちの保健室」事業

【目的】県民が気軽に自身や家族の健康について相談できる場の確保を図るとともに、時代に応じた健康問題をとりあげ、予防の観点から健康教育を実施する。

1)常設型・イベント型の開催

参加者 45名

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
参加者(名)	6	14	7	4	8	5	1	45
割合(%)	13	31	16	9	18	11	2	100

10代の感想

講演で貴重な話を聞くことができ、看護の理解を深められて良かった。看護師を目指したい。

進路について相談できてよかった。

学生さんからアドバイスを聞いて不安だったことが減り、看護師になるのが楽しみになった。

(2)地区部会での行事の開催

地区	開催日	会場	参加者(名)	若年層参加者	
				(名)	(%)
①千葉	5/14	おゆみ野イオン	345	94	27.2
②市原	5/14	ユニモちはら台	170	不明	
③船橋	5/13	東京女子医科大学八千代医療センター、船橋整形外科病院、初富保健病院	16	16	100
⑥東葛	5/13	(一社)柏の葉アーバンデザインセンター	19	5	26.3
⑦印旛	5/6	メガドン・キホーテ四街道店	35	23	65.7
⑧利根	5/13	イオンモール銚子	117	13	11.1
⑨山武	5/13	東金サンピア	82	1	1.2
⑩長夷	5/13	おおたきショッピングプラザオリブ	45	2	4.4
⑪君津	5/7	君津中央病院	34	21	61.8
合計			863	175	20.3

感想

・久しぶりの看護の日に参加できてよかった。

・看護師の仕事は量も内容も想像以上に多く驚いた。看護師が患者に常に優しい態度で接していたことに感動した。

・心臓マッサージなど小さい子供がいるので勉強になった。

2)実行委員会の開催 7/25 1/16

3)ナースングデイ&ウィーク(「看護の日」事業報告書)配布

2.「まちの保健室」事業

1)常設型・イベント型の開催

	令和5年度				令和元年度			
	実施回数(回)		参加者(名)		実施回数(回)		参加者(名)	
	常設	イベント	常設	イベント	常設	イベント	常設	イベント
千葉地区	1	1	439	557		3		794
市原地区		1		119	5	1	172	238
船橋地区	2	1	47	156	4	2	25	413
市川地区	1		74		3		177	
松戸地区					1	1	69	345
東葛地区		3		402	2		288	
印旛地区					8		454	
利根地区	2		143		6		429	
山武地区		2		139	1	2	84	137
長夷地区	3		24		4	1	37	5
君津地区		2		241		2		114
安房地区		1		110	2	1	28	62
合計	9	11	727	1,724	36	13	1,763	2,108

感想

・健康診断の時は話づらいので、ゆっくり話ができて分かりやすく良かった。

・診てもらっている先生になかなか聞けないことが相談できよかった。

・楽しみにしているので次回の日程を教えてください。(複数意見)

・身体のチェックになり普段の生活を見直す機会になる。(多数意見)

### 3. 自殺予防対策

【目的】自殺の原因第1位である「健康問題」を始め様々な悩みの原因について受け止め、ゲートキーパーの役割として、相談先の紹介等解決に向けた支援を行う「心の総合相談窓口」を継続する。

県内看護職が、自他ともに生かせるメンタルヘルス対策を習得し、看護の資質の向上を図る。

#### 1)心の総合相談窓口

(1)専用電話・専用メールによる相談対応

(2)自殺予防に関する広報

(3)相談員研修

2)人材育成研修の開催（第2次千葉県自殺対策推進計画内研修）（再掲）

(1)「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)～私にできること～」

(2)「メンタルヘルス不調のラインケア～看護管理者の役割～」

3) 自殺対策関連会議への参加

### 4. 関係機関・他団体への協力

1)千葉県小児救急電話相談事業への協力

2)健康ちば推進県民大会

3)その他関連機関行事

### 3. 自殺予防対策

#### 1)心の総合相談窓口

(1)専用電話・専用メールによる相談対応

		令和5年度	令和4年度
相談件数（件）		229	290
相談方法	電話相談	181	240
	メール相談	48	50
相談者数（名）		154	239
相談者背景	県民	131	203
	看護職	18	13
	その他	5	23

#### 相談内容別内訳

相談内容	件数	相談内容	件数
精神的問題	78	人間関係	7
検査・治療関係	48	経済的問題	19
家族関係	16	その他	61
合計			229

(2)自殺予防に関する広報

県内病院や訪問看護ステーション、公的機関、会員施設等へカードを配布

看護会館、ナースセンター内設置（合計65,800枚）

心の総合相談窓口を知った媒体

	カード	チラシ	HP	ミニコミ誌	紹介	その他
相談者数（名）	123	1	18	3	7	2
割合（％）	79.8	0.6	11.6	1.9	4.5	1.3

(3)相談員研修

令和5年度佐倉市ゲートキーパー養成研修 10/14

2)人材育成研修の開催（第2次千葉県自殺対策推進計画内研修）（生涯教育再掲）

(1)「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)～私にできること～」

(2)「メンタルヘルス不調のラインケア～看護管理者の役割～」

3)自殺対策関連会議への参加

### 4. 関係機関・他団体への協力

1)千葉県小児救急電話相談事業への協力

千葉県小児救急電話相談事業運営協議会 9/5 3/25

勤務表の作成（2か月毎）登録相談員16名

令和5年12月1日から相談時間が2時間延長(6:00～8:00)への対応

相談員研修の開催 12/16 2/11

2)健康ちば推進県民大会

開催方法 YouTube千葉県公式セミナーチャンネル

開催期間 11/28～12/19

申込数 108名

3)その他関連機関行事

がん予防展

9/3 セブンパークアリオ柏

東葛地区部会員3名参加

<p>4)たばこ対策関係</p> <p>5. 災害支援対策事業 <b>重点事業4-2</b>  <b>【目的】</b> 災害時において、日本看護協会、各都道府県看護協会、千葉県、県内12地区部会と連携し、迅速に災害支援ナースの派遣等ができるよう、平常時より連携を強化し、支援体制を整備する。</p> <p>1)災害支援ネットワークの強化  (1)災害時における関係機関との連携  ・日本看護協会及び都道府県看護協会  ・千葉県、関係団体等  (2)平常時における連携  ・県内施設、日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練等  ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加</p> <p>2)災害に備えた支援体制の整備  (1)災害支援ナースの登録促進  (2)災害支援ナースの登録・管理  (3)天災危険担保特約付国内旅行傷害保険包括契約の継続  (4)災害時の災害支援ナースの派遣調整  (5)災害時必要物品の管理 1回</p> <p>3)災害支援ナースの育成  (1)「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎的知識」  (2)「災害医療と看護（実践編）」  (3)災害支援ナース更新・再登録要件講習会  4)災害対策委員会の開催</p> <p>6. 感染症対策事業 <b>重点事業4-1</b>  <b>【目的】</b> 新興感染症等の感染対策に関する最新の知識、技術を習得し、看護の対象者や自身及び職場の感染を防ぎ、安全な看護を実践できる看護職を育成する。</p> <p>1)支援体制の整備  (1)感染症対策委員会の開催 6回  (2)感染症対策出向支援 6回</p> <p>2)感染症対策を担う看護職の育成（再掲）  (1)新興感染症・再興感染症について学ぼう  (2)地域で生活を支える看護職のための感染管理～高齢者施設・訪問看護の場</p> <p>7. 事業継続計画（BCP）の策定 <b>重点事業4-3</b></p>	<p>4)たばこ対策関係  令和5年度「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」普及啓発用ポスターを看護師等学校養成所 44校に送付</p> <p>5. 災害支援対策事業</p> <p>1)災害支援ネットワークの強化  (1)災害時における関係機関との連携  ・日本看護協会及び都道府県看護協会  ・千葉県、関係団体等  (2)平常時における連携  ・県内施設、日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練等  ・九都県市合同防災訓練千葉県会場への参加  日時 9/2  場所 川村学園女子大学グラウンド（我孫子市）  災害支援ナース6名参加</p> <p>2)災害に備えた支援体制の整備  (1)災害支援ナースの登録促進  (2)災害支援ナースの登録・管理  会員施設625、個人会員23名へ仕組み変更リーフレットの送付  (3)天災危険担保特約付国内旅行傷害保険包括契約 7/1済  (4)災害時の災害支援ナースの派遣調整  「令和6年能登半島地震」への災害支援ナース派遣調整  石川県内3避難所へ36名派遣  穴水町さわやか交流館ブルート 1/12～1/30 20名  輪島市ふれあい健康センター 1/24～1/30 4名  いしかわ総合スポーツセンター 1/30～2/14 12名  報告会 災害支援ナース派遣に係る報告会 3/6 27名  (5)災害時必要物品の管理 1回</p> <p>3)災害支援ナースの育成  新制度研修に移行</p> <p>4) 災害対策委員会 9/6 11/8 1/10 3/13</p> <p>6. 感染症対策事業</p> <p>1)支援体制の整備  (1)感染症対策委員会の開催  5/25 7/27 9/28 10/19 11/16 2/15  (2)感染症対策出向支援  9/11 9/14 10/4 11/9  実施施設 4施設 参加者42名</p> <p>2)感染症対策を担う看護職の育成（再掲）  (1)新興感染症・再興感染症について学ぼう  (2)地域で生活を支える看護職のための感染管理～高齢者施設・訪問看護の場で活かす感染管理～</p> <p>7. 事業継続計画（BCP）の検討  在宅医療機関におけるBCP（事業継続計画）策定支援研修の受講  12/9 1/20 2/17 3名</p>
---	--

## V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業

### 【目的】

看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。

事業計画	実績
<p>1. 職能委員会（職能）</p> <p>1)保健師職能委員会 6回</p> <p>2)助産師職能委員会 6回</p> <p>3)看護師職能委員会(領域Ⅰ) 6回</p> <p>4)看護師職能委員会(領域Ⅱ) 6回</p> <p>2. 職能集会・交流会(職能)</p> <p>1)職能集会</p> <p>・開催日 令和5年6月22日(木)</p> <p>・場 所 東京ベイ幕張ホール</p> <p>(1)保健師職能集会 1回</p> <p>(2)助産師職能集会 1回</p> <p>(3)看護師職能集会(領域Ⅰ) 1回</p> <p>(4)看護師職能集会(領域Ⅱ) 1回</p> <p>2)各職能別交流会</p> <p>(1)保健師職能交流会 1回</p> <p>(2)助産師職能交流会(管理者、中堅) 各1回</p> <p>(3)看護師職能交流会(領域Ⅰ) 1回</p> <p>(4)看護師職能交流会(領域Ⅱ) 1回</p> <p>(5)准看護師交流会 1回</p> <p>3. 4 職能委員長会 3回 <b>重点事業5-2</b></p> <p>4. 県行政等への要望・意見具申(看護制度)</p> <p style="text-align: right;"><b>重点事業1-5-2</b></p> <p>1)県の令和6年度予算等に関する要望書の提出</p> <p>2)県議会等の活動への協力依頼等</p> <p>3)千葉県医療審議会等への参画</p> <p>4)協定締結等による役割の明確化と連携強化</p> <p style="text-align: right;"><b>重点事業4-1-1 4-2-1</b></p> <p>5. 看護関連施策に対する提言(看護制度)</p> <p>1)国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>2)資格認定制度の推進</p> <p>(1)専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 <b>重点事業2-3</b></p> <p>(2)特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進 <b>重点事業2-4</b></p>	<p>1. 職能委員会（職能）</p> <p>1)保健師職能委員会 8/10 10/13 11/13 12/13 1/11 3/18</p> <p>2)助産師職能委員会 8/25 9/22 10/18 12/21 1/25 2/15</p> <p>3)看護師職能委員会(領域Ⅰ) 8/3 9/2 10/16 11/10 12/22 1/22 2/13</p> <p>4)看護師職能委員会(領域Ⅱ) 8/10 9/14 10/12 11/9 12/7 2/8</p> <p>2. 職能集会・交流会（職能）</p> <p>1)職能集会</p> <p>・開催日 令和5年6月22日(木)</p> <p>・場 所 東京ベイ幕張ホール</p> <p>(1)保健師職能集会 参加者 32名</p> <p>(2)(3)看護師職能集会(領域Ⅰ)・助産師 合同職能集会 参加者 149名</p> <p>(4)看護師職能集会(領域Ⅱ) 参加者 36名</p> <p>2)各職能別交流会</p> <p>(1)保健師職能交流会 1/11 Web</p> <p>(2)助産師職能交流会(管理者 12/21 中堅 1/25)</p> <p>(3)看護師職能交流会(領域Ⅰ) 12/22</p> <p>(4)看護師職能交流会(領域Ⅱ) 10/12</p> <p>(5)准看護師交流会 2/13</p> <p>3. 4 職能委員長会 10/11</p> <p>・4 職能委員会合同会議 11/10 1/15</p> <p>4. 県行政等への要望・意見具申(看護制度)</p> <p>1)県の令和6年度予算等に関する要望書の提出 8/2</p> <p>2)県議会等の活動への協力依頼等 8/10 9/26</p> <p>3)千葉県医療審議会等への参画</p> <p>千葉県・市町村等関係会議 154回 関係団体等会議 95回</p> <p>4)協定締結等による役割の明確化と連携強化</p> <p>5. 看護関連施策に対する提言(看護制度)</p> <p>1)国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>2)資格認定制度の推進</p>

## VI 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業

### 【目的】

在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。

事業計画	実 績																																																																																																												
<p>1. 訪問看護事業</p> <p>1)質の高い訪問看護の提供</p> <p>2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <p>3)24時間、緊急時の訪問看護の提供</p> <p>2. 居宅介護支援事業</p> <p>1)ケアプランの提供</p> <p>2)地域のネットワークづくり</p> <p>3)利用者の申請代行</p> <p>3. 訪問看護の普及</p> <p>1)訪問看護研修生の受入れ</p> <p>2)看護学生実習の受入れ</p> <p>4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備</p> <p>1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <p>2)ちば訪問看護ステーション定例会議 毎月</p> <p>3)ちば訪問看護ステーション運営会議 2回</p> <p>5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携</p> <p>1)医療機関、介護支援専門員等との連携 (1)地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加</p> <p>2)利用者確保のための広報活動</p>	<p>1. 訪問看護事業 (訪問看護師常勤換算 現在7.5人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">令和5年度</th> <th style="text-align: center;">令和4年度</th> <th style="text-align: center;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">1)質の高い訪問看護の提供</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用者数延(名)</td> <td style="text-align: center;">870</td> <td style="text-align: center;">936</td> <td style="text-align: center;">△66</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">内訳</td> <td>介護保険利用者</td> <td style="text-align: center;">503</td> <td style="text-align: center;">574</td> <td style="text-align: center;">△71</td> </tr> <tr> <td>医療保険利用者</td> <td style="text-align: center;">367</td> <td style="text-align: center;">362</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">訪問回数(回)</td> <td style="text-align: center;">4,930</td> <td style="text-align: center;">5,211</td> <td style="text-align: center;">△281</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">内訳</td> <td>介護保険利用者</td> <td style="text-align: center;">2,149</td> <td style="text-align: center;">2,544</td> <td style="text-align: center;">△395</td> </tr> <tr> <td>医療保険利用者</td> <td style="text-align: center;">2,781</td> <td style="text-align: center;">2,667</td> <td style="text-align: center;">114</td> </tr> </tbody> </table> <p>2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">令和5年度</th> <th style="text-align: center;">令和4年度</th> <th style="text-align: center;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">在宅での看取り(名)</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">△2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人工呼吸器装着患者(名)</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小児(名)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">△1</td> </tr> </tbody> </table> <p>3)24時間、緊急時の訪問看護の提供</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">令和5年度</th> <th style="text-align: center;">令和4年度</th> <th style="text-align: center;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">緊急訪問延(回)</td> <td style="text-align: center;">237</td> <td style="text-align: center;">257</td> <td style="text-align: center;">△20</td> </tr> <tr> <td colspan="2">休日緊急訪問延(回)</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">85</td> <td style="text-align: center;">△15</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 居宅介護支援事業 (ケアマネジャー常勤換算 現在1.0人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">令和5年度</th> <th style="text-align: center;">令和4年度</th> <th style="text-align: center;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">1) ケアプランの提供</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ケアプラン作成(件)</td> <td style="text-align: center;">389</td> <td style="text-align: center;">407</td> <td style="text-align: center;">△18</td> </tr> <tr> <td colspan="5">2) 地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">担当者会議(回)</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">△7</td> </tr> <tr> <td colspan="5">3) 利用者支援(介護認定支援業務)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用者の申請代行(件)</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">54</td> <td style="text-align: center;">△14</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 訪問看護の普及</p> <p>1)訪問看護研修生の受入れ 1名 1施設</p> <p>2)看護学生実習の受入れ 34名 7校 延68日間</p> <p>4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備</p> <p>1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 ALS利用者1名が4月に呼吸器を導入した。家族への支援を計画し、複数の介護事業所に対して呼吸器等吸引研修を実施。</p> <p>2)ちば訪問看護ステーション定例会議 10回 4/18 5/16 6/25 7/11 9/13 10/17 11/21 12/19 1/16 3/19</p> <p>3)ちば訪問看護ステーション運営会議 3回 4/18 7/11 3/14</p> <p>5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携</p> <p>1)医療機関、介護支援専門員等との連携 (1)地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 13回 4/12 6/16 6/16 7/7 7/14 8/29 9/14 10/2 10/20 11/29 12/15 1/12 2/1</p> <p>2)利用者確保のための広報活動</p>			令和5年度	令和4年度	増減	1)質の高い訪問看護の提供					利用者数延(名)		870	936	△66	内訳	介護保険利用者	503	574	△71	医療保険利用者	367	362	5	訪問回数(回)		4,930	5,211	△281	内訳	介護保険利用者	2,149	2,544	△395	医療保険利用者	2,781	2,667	114			令和5年度	令和4年度	増減	在宅での看取り(名)		12	14	△2	人工呼吸器装着患者(名)		5	5	0	小児(名)		3	4	△1			令和5年度	令和4年度	増減	緊急訪問延(回)		237	257	△20	休日緊急訪問延(回)		70	85	△15			令和5年度	令和4年度	増減	1) ケアプランの提供					ケアプラン作成(件)		389	407	△18	2) 地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)					担当者会議(回)		37	44	△7	3) 利用者支援(介護認定支援業務)					利用者の申請代行(件)		40	54	△14
		令和5年度	令和4年度	増減																																																																																																									
1)質の高い訪問看護の提供																																																																																																													
利用者数延(名)		870	936	△66																																																																																																									
内訳	介護保険利用者	503	574	△71																																																																																																									
	医療保険利用者	367	362	5																																																																																																									
訪問回数(回)		4,930	5,211	△281																																																																																																									
内訳	介護保険利用者	2,149	2,544	△395																																																																																																									
	医療保険利用者	2,781	2,667	114																																																																																																									
		令和5年度	令和4年度	増減																																																																																																									
在宅での看取り(名)		12	14	△2																																																																																																									
人工呼吸器装着患者(名)		5	5	0																																																																																																									
小児(名)		3	4	△1																																																																																																									
		令和5年度	令和4年度	増減																																																																																																									
緊急訪問延(回)		237	257	△20																																																																																																									
休日緊急訪問延(回)		70	85	△15																																																																																																									
		令和5年度	令和4年度	増減																																																																																																									
1) ケアプランの提供																																																																																																													
ケアプラン作成(件)		389	407	△18																																																																																																									
2) 地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)																																																																																																													
担当者会議(回)		37	44	△7																																																																																																									
3) 利用者支援(介護認定支援業務)																																																																																																													
利用者の申請代行(件)		40	54	△14																																																																																																									

<p>6. 職員の資質の向上</p> <p>1)事例検討ミーティング</p> <p>2)研修会・学会等への参加</p> <p>3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加</p> <p>4)訪問看護師クリニカルリーダーの活用</p> <p>7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進</p> <p>1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取り組み</p> <p>2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり</p> <p>3)経営の安定化</p> <p>4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 1回</p>	<p>6. 職員の資質の向上</p> <p>1)事例検討ミーティング 7回 4/18 5/16 6/25 7/11 9/13 11/21 1/16</p> <p>2)研修会・学会等への参加 千葉県看護協会研修7名、日本訪問看護財団研修2名</p> <p>3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加 6/16 8/29</p> <p>4)訪問看護師クリニカルリーダーの活用 クリニカルリーダーを運用と研修計画の立案</p> <p>7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進</p> <p>1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的・基幹的な取り組み</p> <p>2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり スタッフが自主的にステーション運営のための活動を実施し運営会議で進捗を報告 ①BCPの作成 ②業務改善（学生オリエンテーションの効率化運用、緊急対応の役割分担、有休取得推進等）</p> <p>3)経営の安定化 看護師1人1日当たり訪問回数3.0件（前年3.6件 目標訪問回数3.4件以上）</p> <p>4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 3/21</p>
--	--

## VII その他この法人が目的を達成するために必要な事業

### 【目的】

1. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。
2. 情報提供及び広報を行う。
3. 当協会会員に対する相互扶助等の（福利厚生）事業を行う。
4. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。

事業計画	実績
<p>【公益目的事業】</p> <p>1. 地区部会活動事業</p> <p>【目的】地域において、看護職の資質の向上を図るとともに、医療の担い手として誇りをもち、安心して働き続けられる環境づくりと地域のニーズに応える保健・医療・福祉活動を推進することにより、看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献することを目的とする。</p> <p>1)具体的な地区部会活動</p> <p>(1)役員会 5回程度</p> <p>(2)連絡会 2回</p> <p>(3)研修会 2回程度</p> <p>(4)まちの保健室の開催（再掲）</p> <p>(5)「看護の日」「看護週間」事業（再掲）</p> <p>(6)その他、地区特有の事業</p>	<p>【公益目的事業】</p> <p>1. 地区部会活動事業</p> <p>1)具体的な地区部会活動</p> <p>(1)役員会 66回 （千葉4 市原7 船橋6 市川4 松戸6 東葛4 印旛5 利根8 山武7 長夷4 君津5 安房6）</p> <p>(2)連絡会 23回 （千葉2 市原2 船橋2 市川2 松戸2 東葛2 印旛2 利根2 山武2 長夷2 君津2 安房1）</p> <p>(3)研修会 20回 （千葉2 市原1 船橋2 市川1 松戸2 東葛1 印旛2 利根2 山武2 長夷2 君津2 安房1）</p> <p>(4)まちの保健室の開催（再掲）</p> <p>(5)「看護の日」「看護週間」事業（再掲）</p> <p>(6)その他、地区特有の事業 令和5年度会計担当者会議の開催 6/2 （12地区の会計担当者に会計報告書類作成等の説明） <b>地区活動の活性化等に係るモデル事業</b> 利根地区 選定理由 東日本大震災の被災地のひとつであり、防災意識の高い地域基盤がある 災害対策研修 9/15 参加者 30名 地区部会の感想 地区として継続して「横のつながりのある」災害時の連携について話し合える場を作れるよう努力したい。 山武地区 選定理由 役員会等の活動が活発で、看護の専門的スキルを活用した情報発信等、新たな取り組みのモデルとなる基盤がある</p>

<p>2)地区部会長会の開催 2回 3) 地域連携強化と多職種連携会議への参画 <b>重点事業3-2</b></p> <p>2. 情報提供、広報事業 1)千葉県看護協会の広報 (1)機関誌「看護ちば」の発行 5回 (定期4、号外1) (2)ホームページの充実  (3)協会パンフレット等の活用 <b>(4)SNSによる情報発信の検討</b> <b>(5)県民に向けた広報誌等の発行</b> 2)広報委員会の開催 6回</p>	<p>まちの保健室 11/11 参加者 105名 地区部会の感想 参加者の半数は想定した対象年齢層で、参加者からは自分の健康への意識が高まったとの声が聞かれ、今後も地域で身近に相談できる場所として、「まちの保健室」活動を続けていきたい。</p> <p>2)地区部会長会の開催 7/25 1/16 3)地域連携強化と多職種連携会議への参画 他職種連携会議への参画 91回</p> <p>2. 情報提供、広報事業 1)千葉県看護協会の広報 (1)機関誌「看護ちば」の発行 (145号 号外 146号 147号 148号) (2)ホームページの充実 アクセス数392,881件 (前年比96.4%) 更新301回 (3)協会パンフレット等の活用 <b>(4)SNSによる情報発信の検討</b> <b>(5)県民に向けた広報誌等の発行</b> 2024年度創刊に向け検討・準備 2)広報委員会の開催 7/14 8/31 9/29 11/29 1/29 2/22</p>
<p><b>【収益事業】</b> 1. 販売手数料及び出展広告に関する事業 1)看護関連図書の紹介 2)出展広告掲載業者の募集 3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務 (日本看護協会)</p> <p>2. 会員サービス・福祉の充実等 1)会員への相談支援、情報提供 2)看護職の表彰</p> <p>3)慶弔見舞金等の給付</p> <p>4)災害時の支援(再掲) 5)会員福利厚生サービスの実施・広報</p>	<p><b>【収益事業】</b> 1. 販売手数料及び出展広告に関する事業 1)看護関連図書の紹介 2)出展広告掲載業者の募集 3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務 (日本看護協会)</p> <p>2. 会員サービス・福祉の充実等 1)会員への相談支援、情報提供 2)看護職の表彰 千葉県看護協会会長表彰 294名 春の叙勲 3名 (瑞宝双光章 2名 瑞宝単光章 1名) 秋の叙勲 3名 (瑞宝双光章 1名 瑞宝単光章 2名) 日本看護協会会長表彰 5名 3)慶弔見舞金等の給付 弔慰金 8件 災害見舞金 4件 4)災害時の支援(再掲) 5)会員福利厚生サービスの実施・広報 (1)実施 クラブオフ、アフラック (団体保険)、各種割引等 (2)看護ちばへの掲載 (145号 146号 147号 148号)</p>
<p><b>【法人会計】</b> 1. 組織運営に関する会議等の開催 1)定時総会 ・開催日 令和5年6月22日(木) ・場 所 東京ベイ幕張ホール</p> <p>2)理事会 6回 3)監事監査 2回 4)施設等会員代表者会 2回 5)地区部会長会 (再掲) 2回 6)保助看護職能委員会 (再掲) 6回 7)推薦委員会 6回</p>	<p><b>【法人会計】</b> 1. 組織運営に関する会議等の開催 1)定時総会 開催日 令和5年6月22日(木) 場 所 東京ベイ幕張ホール 出席者 229名 委任状 18,621名 審議事項 第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について 第2号議案 令和5年度改選役員及び推薦委員の選任について 第3号議案 令和5年度会員以外の者からの監事の選任について 第4号議案 定款変更について 第5号議案 2024年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について</p> <p>2)理事会 5/18 6/22 7/13 10/12 12/7 2/19 (決議の省略) 3/7 3)監事監査 5/9 11/15 4)施設等会員代表者会 7/19 1/30 5)地区部会長会 (再掲) 6)保助看護職能委員会 (再掲) 7)推薦委員会 9/11 10/11 11/16 1/24 3/13</p>

<p>8)常任委員会（再掲）  教育委員会  労働環境改善委員会  医療安全委員会  広報委員会  会員増促進委員会  看護研究委員会  災害対策委員会  感染症対策委員会</p> <p>9)特別委員会（再掲）  ナースセンター運営委員会  認定看護管理制度教育課程運営委員会  看護職定着・確保対策協議会  <b>看護会館再整備検討委員会（仮称）</b></p> <p>10)関係団体との連携会議（千葉県看護連盟等）</p>	<p>8)常任委員会（再掲）  教育委員会  労働環境改善委員会  医療安全委員会  広報委員会  会員増促進委員会  看護研究委員会  災害対策委員会  感染症対策委員会</p> <p>9)特別委員会（再掲）  ナースセンター運営委員会  認定看護管理制度教育課程運営委員会  看護職定着・確保対策協議会</p> <p>10)関係団体との連携会議（千葉県看護連盟等）  (1)千葉県看護連盟  ①合同役員会 10/3  ②合同研修会 3/9</p>
<p>2. 会員増の促進 <b>重点事業5-1</b></p> <p>1)新規・再入会の促進</p> <p><b>(1)新規入会者への特典の充実</b></p> <p><b>(2)施設訪問</b></p> <p>2) 継続会員への勧奨</p> <p>3)千葉県内看護師等学校養成所卒業生に向けた協会案内  (1)看護学生の表彰  (2)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内  (3)協会の機能と役割に係る特別講話</p> <p>4)会員増促進委員会の開催 6回</p> <p>3. 公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等）  1)令和6年度事業計画・収支予算等の提出  2)令和4年度定期報告（事業報告・決算報告等）  3)役員等の変更登記及び届出</p> <p>4. 日本看護協会との連携  1)通常総会</p>	<p>2. 会員増の促進</p> <p>1)新規・再入会の促進  会員数 28,214名（うち新規入会者2,079名） 入会率 45.5%  前年比540名減（うち新規入会者124名）</p> <p>会員減少施設看護管理者への聞き取り  ・入会の必要性を理解してもらえない  ・複数回入会を勧めると、ハラスメントと言われる  ・入会は任意だからと断られる  ・親から苦情を言われる  ・新任期の研修が終わると退会する  ・退会者の多い入職3～4年目職員への継続の働きかけをしていなかった  ・師長会などで入会を勧めるが結局入会しない</p> <p><b>(1)新規入会者への特典の充実</b>  学研ビジュアルナースングメソッドの提供（新規入会者向け） 29名  申込者数41名（対象外12名のうち8名は継続会員）  会員からの要望・意見  ・新規入会者だけでなく再就業者も対象としてほしい  ・新規入会後の利用申込みでは半年程度しか利用できない  ・新卒の看護職は自施設の業務でいっぱい1年目に自分の時間を使って学習するのは難しい</p> <p><b>(2)施設訪問</b>  保健所 3箇所</p> <p>2)継続会員への勧奨  入会後のご案内「入会されたあなたへ～ information～」等の送付2,079名  施設等会員代表者会での周知</p> <p>3)千葉県内看護師等学校養成所卒業生に向けた協会案内  (1)看護学生の表彰  34校 35名  (2)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内  令和5年度卒業生42校 2,727名  (3)協会の機能と役割に係る特別講話  16校（大学4校・専門学校12校）</p> <p>4)会員増促進委員会の開催 8/16 9/29 10/18 11/15 1/24 2/21</p> <p>3. 公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等）  1)令和6年度事業計画・収支予算等の提出 3/29  2)令和4年度定期報告（事業報告・決算報告等） 6/29  3)役員等の変更登記及び届出 9/19</p> <p>4. 日本看護協会との連携  1)通常総会 6/7 代議員28名  全国職能交流集会 6/8</p>

<p>2)法人委員会・理事会</p> <p>3)地区別法人委員会</p> <p>4)全国職能委員長会</p> <p>5)その他関連会議等</p> <p>5. 行政等との連携 <b>重点事業3-2</b></p> <p>1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画</p> <p>2)関係団体との連携</p> <p>6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <p>1)担当業務に係る外部研修等の受講</p> <p>2)集合研修の実施</p> <p>3)健康診断及びインフルエンザ等予防接種</p> <p>4)有給休暇の取得促進</p> <p>7. 協会資産の管理</p> <p>1)看護会館等の管理</p> <p>(1)看護会館の管理</p> <p>①保全等</p> <p>②環境整備</p> <p>(2)協会物品の管理</p> <p>①固定資産台帳の管理</p> <p>②物品台帳の管理</p> <p>(3)公用車の管理</p> <p>2)情報資産の管理・活用</p> <p>(1)情報資産の管理</p> <p>①情報セキュリティの確保</p> <p>②個人情報関連業務の標準化</p> <p>(2)情報資産の活用</p> <p>①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</p> <p>②研修管理システムの管理・運用</p> <p>③看護管理者メーリングリストの活用</p> <p>3)看護会館の再整備</p> <p>(1)看護会館再整備検討委員会（仮称）の設置</p> <p>(2)整備方針検討のための調査の実施</p>	<p>2)法人委員会・理事会</p> <p>法人委員会 5/17 7/21 9/22 11/22 2/22</p> <p>理事会 5/17 6/7 7/20・21 9/22 11/21・22 2/21・22</p> <p>3)地区別法人委員会 10/26・27</p> <p>4)全国職能委員長会 7/28 3/3</p> <p>地区別職能委員長会 10/27</p> <p>5)その他関連会議等</p> <p>5. 行政等との連携</p> <p>1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画（再掲）</p> <p>2)関係団体との連携</p> <p>行事等への後援等 31件</p> <p>6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生</p> <p>1)担当業務に係る外部研修等の受講</p> <p>職業紹介責任者研修 4/26 2名 2/29 1名</p> <p>看護研究基礎編①～④ 5/26 6/2 8/7・8 9/1 1名</p> <p>スタッフ・利用者のいのちと暮らしを守るBCP 6/17 1名</p> <p>難病勉強会 6/21 7/5・12・19・26 1名</p> <p>労務管理入門～働きやすい職場環境づくりの基礎知識～ 7/5 1名</p> <p>地域で暮らす認知症療養者のための多職種連携 7/22 1名</p> <p>日本看護管理学会 8/25・26 1名</p> <p>ゲートキーパー養成研修 10/14 1名</p> <p>社会人のための接遇&amp;マナー研修 10/25 1名</p> <p>学研メディカルサポートオンライン情報交換会 11/2 2名</p> <p>医中誌Webエンドユーザー向けミニレクチャー 11/8・9・10 1名</p> <p>2023年度 過重労働解消のためのセミナー 11/14 12/11 3名</p> <p>普通救命講習Ⅰ 11/17 1名</p> <p>在宅医療関連調査・講師人材養成事業 12/5～2/5 1名</p> <p>日本看護サミット2023 12/14 5名</p> <p>医療事故調査制度支援団体統括者セミナー 3/16 1名</p> <p>令和6年度診療報酬・介護報酬の同時改定セミナー 3/24 1名</p> <p>2)集合研修の実施</p> <p>公益法人制度に関する研修 10/12 31名</p> <p>2023年度政策力育成のための都道府県看護協会職員研修 3/18 25名</p> <p>3)健康診断及びインフルエンザ予防接種</p> <p>4)有給休暇の取得促進</p> <p>7. 協会資産の管理</p> <p>1)看護会館等の管理</p> <p>(1)看護会館の管理</p> <p>①保全等</p> <p>②環境整備</p> <p>(2)協会物品の管理</p> <p>①固定資産台帳の管理</p> <p>②物品台帳の管理</p> <p>(3)公用車の管理</p> <p>訪問看護ステーション公用車 11台</p> <p>2)情報資産の管理・活用</p> <p>(1)情報資産の管理</p> <p>①情報セキュリティの確保</p> <p>②個人情報関連業務の標準化</p> <p>(2)情報資産の活用</p> <p>①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有</p> <p>②研修管理システムの管理・運用</p> <p><b>研修用ハイブリッドカメラ設置 7/28</b></p> <p>③看護管理者メーリングリストの活用</p> <p>3)看護会館の再整備</p>
---	---

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
<b>分類1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育（17研修中17研修実施）</b>							
ケアする力	I～V	001	【新規】新興感染症・再興感染症について学ぼう	ライブ	100	51	51.0
	I～V	002	多職種連携による入退院支援（公開研修 訪問看護師養成講習会と合同）	ライブ	80	73	91.3
	II～V	003	臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識	ライブ	100	23	23.0
	II～V	004	【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識【認知症ケア加算対応】	対面	50	92	184.0
	II～V	005	【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識【認知症ケア加算対応】	対面	50	93	186.0
	II～V	006	【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識【認知症ケア加算対応】	対面	50	84	168.0
	III～V	007	認知症対応力 スキルアップ研修	対面	50	28	56.0
	II～V	008	★☆認知症対応力向上研修【認知症ケア加算対応】	ライブ/対面	160	128	80.0
	I	009	准看護師のためのスキルアップ研修 認知症ケアと医療安全 ～転倒転落を防ぐケア～	ライブ	20	6	30.0
	I	010	准看護師のためのスキルアップ研修 ～誤嚥を予防する食事介助と口腔ケア～	対面	20	5	25.0
協働する力	II～V	011	医療から在宅につながり支える看護	ライブ	100	68	68.0
	II～V	012	小児虐待の芽をつむ多職種連携	ライブ	50	24	48.0
	III～V	013	高齢者を支える看護と高齢者虐待予防	ライブ	100	19	19.0
	II～V	014	地域で生活を支える看護職のための感染管理 ～高齢者施設・訪問看護の場で活かす感染管理～	ライブ	100	21	21.0
	II～V M-I ～IV	015	ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）～私にできること～	ライブ	100	26	26.0
	II～V M-I ～IV	016	【新規】看護師の特定行為研修制度と研修修了者の実践	ライブ	100	13	13.0
	III～V	017	【JNAインターネット配信（オンデマンド）研修】医療安全管理者養成研修会【医療安全対策加算対応】	対面	100	111	111.0
分類1 小計					1,330	865	65.0
<b>分類2 ラダーと連携した継続教育（76研修中71研修実施・5研修中止）</b>							
とらえる力	II～IV	018	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 循環・意識障害	ライブ	100	84	84.0
	II～IV	019	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 呼吸・腹部症状	ライブ	100	79	79.0
	II～IV	020	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 骨筋・神経	ライブ	100	58	58.0
	II～IV	021	小児のフィジカルアセスメント	ライブ	50	33	66.0
	III～IV	022	基礎から学ぶ臨床推論 ～看護の臨床判断能力を高めるスキル～	ライブ	100	67	67.0
ケアする力	I～V	023	【JNA収録DVD研修】災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	対面	—	中止	—
	I～V	024	【JNA収録DVD研修】災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	対面	—	中止	—
	III～V	025	災害医療と看護（実践編）	ライブ	(100)	中止	—
	III～V	026	災害支援ナース更新・再登録要件 講習会	ライブ	(70)	中止	—
	II～V	027	糖尿病合併症の重症化予防と看護	ライブ	100	53	53.0
	II～V	028	急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本 — スキン・ケアの基礎知識と褥瘡予防ケア —	ライブ	100	115	115.0
	II～V	029	食べたいをかなえる！経口摂取ケアのポイント	対面	50	55	110.0
	II～V	030	地域における看取りを考える ～在宅・介護施設における看取り～	ライブ	100	39	39.0
	II～V	031	がん医療の最新知識と患者・家族の療養支援	ライブ	100	47	47.0
	II～III	032	周手術期の看護 ～麻酔の機序と術後ケア～	ライブ	100	59	59.0
	A1～3	033	地域保健を効果的に進めるための保健師研修 ～保健活動に活かす感染症対策の基本～	対面	20	6	30.0
	II～V C- II III	034	周産期のメンタルヘルスケア	ライブ	30	13	43.3
協働する力	I～II	035	医療安全 I ～危険予知トレーニング KYT～	対面	50	60	120.0
	II～V	036	医療安全 II ～チームステップス～	対面	50	46	92.0
	II～V	037	医療安全 III ～医療事故事例を法律から見てみる・看護記録～	ライブ	100	58	58.0
	II～III	038	リーダーを始める人のためのコーチング	ライブ	100	87	87.0
	III～V	039	よりよい人間関係を築くためのアサーション	ライブ	100	83	83.0
	III～V	040	リーダーシップ研修 ～チーム力アップをめざすファシリテーションの技法～	ライブ	100	86	86.0
	I～V	041	アンガーマネジメントのコツを知ってストレス対策	ライブ	100	55	55.0
	I～V	042	【新規】成長を支えるためのレジリエンス（回復力）とセルフ・コンパッション（自分を思いやる力）	ライブ	100	48	48.0
	I～V	043	ハラスメントのない職場環境を目指して	ライブ	100	50	50.0
	I～V	044	LGBTQの理解	ライブ	100	24	24.0

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	定員(人)	受講数(人)	受講率(%)
支える力 意思決定を	III～V	045	看護実践における看護倫理	ライブ	100	55	55.0
	III～V	046	その人らしい生き方を支える意思決定への支援 ～倫理綱領や事例検討から学ぶ～	対面	60	48	80.0
	III～V	047	アドバンス・ケア・プランニング (ACP) を学ぼう	ライブ	100	96	96.0
共通	I	047～055	フレッシュセミナー (春・秋)	ライブ	各200 1,600	841	52.6
		056	フレッシュセミナー (秋)	ライブ	200	16	8.0
		057	★新人看護職員研修 (実習有)	ライブ/対面	15	2	13.3
		058	★新人看護職員研修 ～情報管理・感染管理～	ライブ	35	7	20.0
		059	★新人看護職員研修 ～摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度～	ライブ	35	20	57.1
		060	★新人看護職員研修 ～フィジカルアセスメント～	ライブ	35	16	45.7
		061	★新人看護職員研修 ～与薬の技術と薬剤管理・医療安全～	ライブ	35	11	31.4
		062	★新人看護職員研修 ～心電図・心肺蘇生法 (BLS) ～	ライブ	35	22	62.9
		063	★新人看護職員研修 ～スキンケア～	ライブ	35	14	40.0
		064	★新人看護職員研修 ～物品管理と経済効果・死後のケア～	ライブ	35	8	22.9
		065	★新人看護職員研修 ～コミュニケーションの技法・災害対策～	ライブ	35	10	28.6
		066	★新人助産師研修 (実習有)	ライブ/対面	10	中止	—
		067	★新人助産師研修 ～産科医療補償制度・産科ガイドライン・CTG 判読～	ライブ	20	11	55.0
		068	★新人助産師研修 ～ハイリスク妊産婦ケア～	ライブ	20	9	45.0
		069	★新人助産師研修 ～与薬の技術と薬剤管理・医療安全～	ライブ	20	4	20.0
		070	★新人助産師研修 ～新生児のフィジカルアセスメントとケア～	ライブ	20	9	45.0
		071	★新人助産師研修 ～妊娠糖尿病妊産婦へのケア～	ライブ	20	11	55.0
		072	★新人助産師研修 ～産科救急・助産ケアの実際～	ライブ	20	12	60.0
073	★新人助産師研修 ～母乳育児～	ライブ	20	11	55.0		
074	★新人助産師研修 ～家族への支援・看護実践のリフレクション～	ライブ	20	13	65.0		
共通	I～II	075～082	2年目看護師として自己の成長をみつめて	ライブ	1,600	438	27.4
		083	★実地指導者研修	対面	50	54	108.0
	II～III	084	★実地指導者研修	対面	50	58	116.0
		085	看護研究 基礎編① 基礎編② 基礎編③ 基礎編④	対面	40	51	127.5
	II～V	086	看護研究 基礎編① (No.85 の聴講参加) ～研究テーマの決定と文献検索～	対面	10	6	60.0
	II～V	087	看護研究 基礎編② (No.85 の聴講参加) ～研究計画書をつくる～	対面	10	8	80.0
	II～V	088	看護研究 基礎編③ (No.85 の聴講参加) ～データ収集と分析 (質・量) ～	対面	10	12	120.0
	II～V	089	看護研究 基礎編④ (No.85 の聴講参加) ～発表・論文作成～	対面	10	14	140.0
	IV～V	090	看護研究 指導編 ～研究の指導をするためのスキル～	ライブ/対面	40	12	30.0
	II～V	091	レポートや小論文の記述力を高めるために	対面	50	18	36.0
	II～V	092	プレゼンテーションスキルを磨こう!	対面	50	25	50.0
II～V	093	自己の成長を促すナラティブ・アプローチ	対面	50	22	44.0	
分類2 小計					6,445	3,269	50.7
<b>分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 (9 研修中 9 研修実施)</b>							
共通	II～V	094	看護管理者ビギナー研修 ～主任の役割と看護管理～	対面	50	89	178.0
	M-II～IV	095	看護管理者研修	対面	50	67	134.0

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	定員(人)	受講数(人)	受講率(%)
共通	M-I~IV	096	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 JNA e-ラーニング活用【診療報酬加算対応】	eラン/対面	50	32	64.0
		097	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 JNA e-ラーニング活用【診療報酬加算対応】	eラン/ライブ	50	43	86.0
		098	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 JNA e-ラーニング活用【診療報酬加算対応】	eラン/対面	50	38	76.0
		099	メンタルヘルス不調のラインケア～看護管理者の役割～	ライブ	100	24	24.0
		100	【公開講座】認定看護管理者教育課程ファーストレベル 特別講演	対面	20	4	20.0
		101	【公開講座】認定看護管理者教育課程ファーストレベル 特別講演	対面	20	1	5.0
		102	【公開講座】認定看護管理者教育課程セカンドレベル フォローアップ研修 特別講演	対面	20	1	5.0
分類3 小計					410	299	72.9
<b>分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育(3研修中3研修実施)</b>							
共通	III~IV	103	★教育担当者研修	対面	50	33	66.0
	III~IV	104	人を育てる臨地実習	ライブ	50	46	92.0
	III~IV	105	人を育てる臨地実習	対面	50	49	98.0
分類4 小計					150	128	85.3
<b>分類5 資格認定教育(6研修中6研修実施)</b>							
共通	I~V	106	訪問看護師養成講習会	e-ラン 講義実習	20	7	35.0
	III~IV	107	★喀痰吸引等指導者養成講習会	対面	30	27	90.0
	III~IV	108	★令和5年度千葉県看護教員養成講習会	e-ラン 対面	40	13	32.5
共通 マネジ メント	M-I	109	第43回認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	対面	45	56	124.4
	M-I	110	第44回認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	対面	45	51	113.3
	M-I~II	111	第22回認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	対面	40	34	85.0
分類5 小計					220	188	85.5
<b>追加研修(分類2:2研修実施 分類1:3研修実施)</b>							
する 力 ケア	/	114	【新規】災害支援ナース養成研修	対面	100	55	55.0
		115	【新規】災害支援ナース養成研修	対面	100	105	105.0
追加分類2 小計					200	160	80.0
する 力 協働	III~V	116	★医療的ケア児等在宅移行支援研修 基礎編	ライブ 対面	15	9	60.0
		117	★医療的ケア児等在宅移行支援研修 応用編	ライブ 対面	15	8	53.3
	I~V	118	【新規】外来における在宅療養支援能力向上のための研修 JNA e-ラーニング活用	対面	70	39	55.7
追加分類1 小計					100	56	56.0
分類1~5 合計					8,855	4,965	56.1